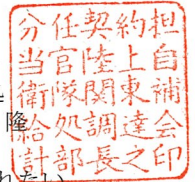


公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊関東補給処
調達会計部長 酒井 隆



以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

1 入札事項

契約実施計画番号	調 達 要 求 番 号	物 品 番 号	仕 様 書 番 号				
3PQL1Q200160	3PU51A10018 0001		EAPBC-Z000001E				
品名 または 件名							
産業廃棄物処理							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使用器材名							
数 量	単 位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指 定	検 査	包 装
1.00	ST						
納地または工事場所				引 渡 場 所			
関東処 朝日燃支							
搬入場所				納 期 ま た は 工 期			
				令和6年3月29日(金)			

2 競争参加資格

次のいずれかであること
全省庁統一資格の「役務の提供等」に係る等級がA、B、C、D等級であること
ただし、細部は注意事項による。

3 契約条項を示す場所

「入札及び契約心得」・「標準契約書等」については、調達会計部契約課及びホームページに掲載（掲載）する。

4 説明会及び入札執行の日時場所

説明会日時場所：説明会実施せず
入札日時場所：令和6年1月18日（木）13時30分 関東補給処A 2多目的室

5 保証金

入札保証金：免除 契約保証金：免除

6 落札決定方式及び契約方式

落札決定方式：総品目総額 契約方式：一般競争

7 注意事項

- (1) 競争参加資格の年度は、令和04・05・06年度とする。
- (2) 競争参加地域は、関東・甲信越とする。
- (3) 入札時に必ず資格審査結果通知書の写しを提出すること。
- (4) 入札において代理人が入札をする場合は、委任状を提出すること。
- (5) 入札及び契約心得について承諾のうえ参加すること。
- (6) 入札書には必ず住所・会社名・代表者名及び応札を担当する者の氏名と連絡先を記載すること。
- (7) 入札書の押印は省略できるものとする。

8 問い合わせ先

本書記載事項の問い合わせ先
調達会計部契約課契約班 大野
(電話029-842-1211 内線 2236)
仕様書に関する問い合わせ先
関東補給処朝日燃料支処 矢吹
(電話029-842-1211 内線 3503)

本公告は、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地 関東補給処調達会計部
陸上自衛隊関東補給処調達会計部ホームページ
<https://www.mod.go.jp/gsdf/ae/eadep/tyokai/honsyo/honsyo.index.html>に掲載。
QRコードから公式サイトにアクセスできます。



9 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当しない者であること、なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 防衛省大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止等の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (4) 前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- (5) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を、該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。
- (6) 第4号の「資本関係又は人的関係にある」場合とは、次に定める基準のいずれかに該当する場合をいう。
 - ア 資本関係がある場合
次の(ア)又は(イ)に該当する二者の場合。ただし、(ア)については子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第3号及び会社法施行規則（平成18年法務省令第12号）第3条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は、(イ)について子会社の一方が会社更正法（昭和27年法律第172号）第2条第7項に規定する更正会社（以下「更正会社」という。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）第2条第4号に規定する再生手続（以下「再生手続」という。）が存続中の会社である場合を除く。
 - (ア) 親会社（会社法第2条4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合
 - (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
 - イ 人的関係がある場合
次の(ア)又は(イ)に該当する二者の場合。ただし、(ア)については、更正会社又は再生手続存続中の会社である場合を除く。
 - (ア) 一方の会社の役員（常勤又は非常勤の取締役、会計参与、監査役、執行役、理事、監事その他これらに準ずる者をいい、社外役員を除く。以下の号において同じ。）が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
 - (イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更正法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合
 - ウ ア及びイに掲げる場合のほか、資本構成又は人的構成において関連性のある一方の会社による落札が他方の会社に係る指名停止等の措置の効果を事実上減殺するなどア又はイに掲げる場合と同視し得る資本関係又は人的関係があると認められる場合
- (7) 防衛省として原価計算システムの適正性を確認できない状態にある者でないこと。（但し、市場価格方式による場合は、除く。）

10 入札の方法

- (1) 競争は消費税抜きの価格相当額で行うので、入札書には見積した金額の110分の100に相当する金額を記載する。
- (2) 郵便による入札は、作成した入札書を小封筒に入れ小封筒表に、入札日、公告番号、件名を朱書きして封印したものと、資格審査結果通知書の写しを外封筒に入れ、外封筒にも、入札日、公告番号、件名を記載し、郵便書留等にて入札日前日（入札日の前日等が閉庁日の場合は、閉庁日前直近の開庁日）12時00分までに契約課に必着とする。また、入札書が届いたかの確認をすること。

11 落札決定方法

- (1) 予定価格の制限の範囲で最低の価格をもって申し込みをした者を落札者とする。
- (2) 契約金額は、落札者の入札書に記載された金額の100分の110に相当する金額とする。尚、その金額に1円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てる。
- (3) 1回目の入札において郵便入札があり落札しない場合の再度入札は令和6年1月25日（木）14時30分 関東補給処A2多目的室（A庁舎2階）で行う。
- (4) 郵便による再度入札は、作成した入札書を小封筒に入れ小封筒表に、再度入札日、公告番号、件名を朱書きして封印し外封筒に入れ、外封筒にも、再度入札日、公告番号、件名を記載し、郵便書留等にて再度入札日前日（入札日の前日等が閉庁日の場合は、閉庁日前直近の開庁日）12時00分までに契約課に必着とする。また、入札書が届いたかの確認をすること。

12 違約金

落札者等が「入札及び契約心得」に従って契約の締結手続きをしない場合には、落札者等が契約締結に応じないものとみなし、落札金額に消費税相当額を加算した金額の100分の5に相当する金額を違約金として徴収し、契約者が契約を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上の金額を違約金として徴収する。

13 入札の無効

- (1) 第2項及び第9項の参加資格のない者のした入札又は入札に関する条件に違反した入札
- (2) 入札及び契約心得第3章第6項に規定する暴力団排除に関する誓約をしない場合、誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合

14 契約書の作成

落札業者は落札決定後、契約金額により遅滞なく陸上自衛隊補給処等用標準契約書等に示す契約書等を作成するものとする。なお、契約書の割印及び袋とじは実施しない。

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号		仕 様 書 番 号	
産業廃棄物処理		EAPBC-Z000001E	
		作 成	平成24年 4月10日
		変 更	令和 4年12月 1日
		作成部隊等名	関東補給処朝日燃料支処

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊関東補給処朝日燃料支処において実施する産業廃棄物処理の役務調達について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、GLT-CG-Z000001による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 仕様書

GLT-CG-Z000001 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

b) 法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（以下，“法”という。）

2 役務に関する要求

2.1 一般的要求事項

対象産業廃棄物の種類及び数量，その他の一般的要求事項は、調達要領指定書によって指定する。

2.2 処理の区分

処理の区分は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、収集運搬及び処分とし、収集運搬の際に発生した容器等は回収した業者が区分するものとする。

2.3 処理基準

処理基準は、次によるほか、契約の相手方は、法及び関連法令を遵守し、適正に処理する責任を負う。

a) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く。）の処理は、法第12条で定める産業廃棄物処理基準による。

b) 特別管理産業廃棄物の処理は、法第12条の2で定める特別管理産業廃棄物による。

2.4 産業廃棄物管理票の処置

産業廃棄物管理票（以下，“管理票”という。）の処置は、法第12条の3で定めるところによる。

3 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等（以下，“担当官”という。）が定める監督・検査実施要領による。

4 その他の指示

4.1 提出書類

提出書類は、次によるほか、担当官の指示による。

- a) 当該産業廃棄物の種類を事業範囲に含む許可証の写し（契約前）。
- b) 管理票（B2票，D票）の写しおよび管理票（E票）（役務完了後）。

4.2 仕様書に関する疑義

仕様書の内容について疑義を生じた場合は、すべて担当官に申し出てその指示を受ける。

調 達 要 領 指 定 書	発 簡 番 号	
	調達要求番号	3 P U 5 1 A 1 0 0 1 8
	調達要求年月日	令和5年 11月 30日
	作 成 部 隊	関東補給処朝日燃料支処
	作成年月日	令和5年 11月 30日
品 名	産業廃棄物処理	
仕 様 書 番 号	E A P B C - Z 0 0 0 0 0 1 E	

指定事項

2. 1 一般的要求事項

a) 対象産業廃棄物の種類及び数量

NO	廃棄物の名称	種 類	数量	単位	1個当たりの重量(Kg)	重量計 (Kg)	備考
1	固着防止コンパウンド	廃油	1	個	0.65	0.65	
2	航空用グリース, スプライン用	廃油	144	個	0.20	28.80	ダンボール5箱
3	ブレーキ液, 自動車用	廃アルカリ	3	個	19.95	59.85	
4	グリース, NB52	廃油	253	個	1.15	290.95	ダンボール22箱
5	シリコングリース, TSK5421	廃油	6	個	0.15	0.90	ダンボール1箱
6	自動車用ホイールベアリンググリース	廃油	4	個	17.50	70.00	
7	ノンメチクロはく離剤, タイプI	廃油	3	個	17.30	51.90	
8	ノンメチクロはく離剤, タイプII	廃アルカリ	3	個	20.90	62.70	
9	融氷液2種	廃アルカリ	1	個	21.95	21.95	
10	油圧作動油, トラッククレーン用 (20L缶)	廃油	25	個	18.80	470.00	
11	航空用グリース, G354	廃油	60	個	3.45	207.00	ダンボール15箱
総 重 量						1,264.70	

b) 廃棄物の詳細

廃棄理由	油脂類の有効期限が超過したため。
処理の区分	収集、運搬及び処分とし、最終処分の方法は焼却処分とする。
荷姿	廃油、廃アルカリとも、ペール缶又は缶及びプラスチックはダンボール箱に封入。

c) 引渡し場所および引渡し時期

引き渡し場所は、陸上自衛隊朝日分屯地内の油脂庫とし、引き渡し時期は契約後に双方で調整し、決定する。

d) その他要求する事項

梱包容器等を含め処分するものとする。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
 ※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	固着防止コンパウンド					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	ワセリン(パラフィン系混合物) 45~55% 他 二硫化モリブデン 45~55%				MSDSがある場合、CAS No.
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属くず 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
	<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)				
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・ <u>非該当</u>)、委託する廃棄物の該当・非該当 (<u>該当</u> ・非該当) モリブデン化合物				
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	<input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)						

9	有害特性 (有・無・ 不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(200℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(半固体) 臭い(鉱油臭) 色(灰黒色) 比重(1.0) pH() 沸点(250℃以上) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・ 無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(LB缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット ・継続予定) (1) kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・ 個 /年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・静電気が発生する恐れのある設備には、蓄積する静電気を除去する装置を設ける。 ・保管の際、直射日光を避け、通風が良く、火気、熱源から離して保管すること。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 ・その他安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ **サンプル無** ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート (SDS)

144
4.3.15

1. 化学物質等(製品)及び会社情報

1.1 製品の特定

製品名 : 固着防止コンパウンド (クロサカ)
 製品分類 : ペースト
 主な用途 : 自衛隊向け摺動部の潤滑
 整理番号 : MSDSGHS固着防止コンパウンド

1.2 会社情報

製造会社 : 大東潤滑株式会社
 住所 : 東京都中央区日本橋富沢町12番8号
 担当部門 : 技術部
 電話番号 : 03-3669-4511
 FAX 番号 : 03-3669-4516
 制定日 : 2008年 9月11日

改定日 : 2016年9月23改C

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分	外
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分	分類できない
	: 急性毒性(経皮)	区分	分類できない
	: 急性毒性(吸入)	区分	分類できない
	: 皮膚腐食性/刺激性	区分	外
	: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分	外
	: 呼吸器感作性	区分	分類できない
	: 皮膚感作性	区分	分類できない
	: 生殖細胞変異原性	区分	分類できない
	: 発がん性	区分	分類できない
	: 生殖毒性	区分	分類できない
環境に対する有害性	: 特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分	分類できない
	: 特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分	外
	: 吸引性呼吸器有害性	区分	分類できない
	: 水生環境急性有害性	区分	分類できない
	: 水生環境慢性有害性	区分	分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

絵表示 : なし

注意喚起語 : なし

注意書き

【安全対策】

- : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
- : 個人用保護具や換気扇を使用し、ばく露を避けること
- : 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること
- : ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
- : 取扱い後はよく手を洗うこと
- : 環境への放出を避けること

【救急処置】

- : 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと
- : 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息さ

せること

- : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと
- : ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること
- : 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断、手当を受けること
- : 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること
- : 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること
- : 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当を受けること

【保管】

- : 施錠して保管すること。
- : 「7. 取扱い及び保管上の注意」をお読み下さい。

【廃棄】

- : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること
- : 「13. 廃棄上の注意」をお読み下さい。

国・地域情報 : 15. 参照

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物	
化学名又は一般名	: ペースト	
成分及び含有量	: ワセリン (パラフィン系混合物)	45-55重量%
	: 二硫化モリブデン	45-55重量%
化学式又は構造式	: 特定できない	
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: 企業秘密なので記載できない	
CAS No.	: 企業秘密なので記載できない	
危険有害成分		
化学物質排出把握管理促進法	: モリブデン化合物 第一種指定化学物質No. 453	
	Mo換算	30重量%
労働安全衛生法	: 第57条の2 通知対象物質	
	政令番号 第603号 モリブデン及びその化合物	45-55重量%
毒劇物取締法	: 該当しない	

4. 応急措置

吸引した場合	: 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の指示をあおぐ。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。気分が悪いときは、医師の手当て、診断をうけること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合	: 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせず、口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
医師に対する特別注意事項	: 症状は遅れて発現することがあり、過剰に暴露したときは医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

消化剤	:	粉末、乾燥砂が有効である。
使ってはならない消化剤	:	棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。
特有の危険有害性	:	現在のところ有用な情報なし
特有の消化方法	:	火元へのガス燃焼源を断つ。 周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消化を行う者の保護	:	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、	:	作業者の際には、必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項	:	河川、下水道等に排出されないように注意する。 海上の場合、薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
封じ込め及び浄化の方法	:	周囲の着火源を取り除く。
・機材	:	少量の場合は、ヘラ、スコップ等で除くか、土砂、ウエス等に吸着させ回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。 大量の場合は、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。漏洩したグリースは土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後出来るだけ空容器に回収する。 海上の場合、オイルフェンスを展開し拡散を防止し、すくい取るかまたは吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
二次災害の防止策	:	漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する
人体に対する注意事項、	:	作業者の際には、必ず保護具を着用する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：		
技術的対策	:	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	:	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	:	<ul style="list-style-type: none"> ・定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。 ・静電気が発生する恐れのある設備には、蓄積する静電気を除去する装置を設ける事。 ・ストーブやコンロ等火気の付近では使用しないこと。 ・火気を使用している室内で大量に使用しないこと。また、みだりに蒸気を発生させないこと。 ・眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。 ・室内で使用の場合は、十分に換気の良い状態で使用すること。また、蒸気の発散を極力抑えるために、拭取った布や紙を室内に放置しないこと。 ・石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。その為に、換気及び火気などへの注意が必要である。 ・使用前に取扱説明書を入手すること。 ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の取扱いをしてはならない。 ・接触、吸入又は飲み込まないこと。 ・蒸気の吸入を避けること。 ・眼に入れないこと。 ・取扱い後はよく手を洗うこと。 ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

- ・環境への放出を避けること。
「10. 安定性及び反応性」を参照
- 接触回避
保管
技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、梁を不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料で葺き、かつ天井を設けないこと。
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とすると共に、適切な傾斜をつけ、かつ適切な溜め枘を設けること。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱いのために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
- 保管条件 : ハロゲン類、強アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
一禁煙一。容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
施錠して保管すること。
- 混触危険物質 : 「10. 安全性及び反応性」を参照
- 容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度 :

管理濃度	許容濃度 日本産業衛生学会 (2010)	ACGIH (2010) (TLV-TWA/TLV-STEL)
規定無し	規定無し	規定無し

- 設備対策 : 製造業者が指定するその他の防爆の電気、換気、照明機器を私用する事。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設備すること。
空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
「火気厳禁」、「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見やすい箇所に提示すること。
安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を設置する。
- 保護具 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 : 製造業者が指定する保護手袋を着用すること。
眼の保護具 : 製造業者が指定する眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
- 皮膚及び身体の保護具 : 製造業者が指定する顔面用の保護具を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 灰黒色、半固体
- 臭い : 鉱油臭
- pH : データなし
- 沸点 : 250℃以上
- 引火点 : 200℃以上(C.O.C)
- 自然発火点 : データなし
- 爆発範囲 : 1.0~7.0vol(基油のデータより)
- 比重(密度) : 約1.0(15℃)
- 溶解度 : 水:不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 常温では安定である。
 危険有害反応可能性 : 水との反応性はない。
 避けるべき条件 : 加熱、高温、混触危険物質との接触。
 混触危険物質 : 強酸化剤との接触を避ける。
 危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性

経口毒性	吸入毒性	経皮毒性
データなし	データなし	データなし

- 皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
 目に対する重篤な損傷・刺激性 : ウサギを用いた試験により、軽度の刺激性と記述されている報告があることから区分2Bとした。眼刺激
 呼吸器感受性又は皮膚感受性 : 呼吸器感受性: データなし
 皮膚感受性: ヒトにて、評価結果「notsensitizing」(IU CLID(2000))、反復ばく露により皮膚炎 (dermatitis) はみられたが感受性ではない、およびアレルギー性はなく、皮膚試験のvehicleとして使用される (Patty (5th, 2001)) の記載がある。以上の結果から区分外とした。
 生殖細胞変異原性 : データなし
 発がん性 : データ不足で分類できない
 生殖毒性 : 現在のところ有用な情報なし
 特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : データ不足で分類できない
 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : 長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ
 吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : データなし
 残留性・分解性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壤中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

- 国内規制
 陸上輸送 : 消防法: 危険物に該当しないが指定可燃物可燃性固体類に該当する
 海上輸送及び航空輸送 : 船舶安全法: 非危険物、個別運送およびばら積み運送に於いて
 航空法 : 非危険物
 国連分類 : 該当しない
 国連番号 : 該当しない
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐蝕、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。重量物は上積みしない。

15. 適用法令

消防法	:	危険物に該当しないが指定可燃物可燃性固体類に該当する。
労働安全衛生法	:	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (57条の2第1項 施行令第18条の2別表第9)
化学物質排出把握 管理促進法 (PRTR法)	:	第一種指定化学物質
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
調査法規	:	水質汚濁防止法 : 油分排出規制 (5mg/L許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規制 海洋汚染防止法 : 油分排出規制 (原則禁止) (拡散、流出の禁止) 下水道法 : 油分排出規制

16. その他(引用文献)

参考資料

1. ANSI Z 129, 1-1944 American national standards Institute. (全米規格協会)
2. 新・絵で見る中毒110番(保健同人社)
3. 許容濃度の勧告(1996)日本産業衛生学会 産業医学 38巻 P.172-183
4. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(1996-1997)
5. CONCAWE Product dossier no.92/101 Aromatic Extracts
6. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33
7. EC理事会指令「67/548/EEC」の付属書I「危険な物質リスト」
8. 製品安全データシートの作成指針(日本化学工業協会)

*注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保する為の参考情報として、取り扱う業者に提供されるものです。取り扱う業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずる事が必要である事を理解した上で活用されるようお願いいたします。又、全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかも知れません、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などに利用される場合は、出展などを良く確認されるか試験によって確かめられる事をお薦めします。従って、本データシートそのものは、安全の保障書ではありませんのでこの点に御配慮をお願いいたします。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341	茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用グリース, スプライン用					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	潤滑油基油(鉱油) 75~85wt%				MSDSがある場合、CAS No.
	他	増ちょう剤 10~15wt% 添加剤 10wt%未満 メチルアルコール 5wt% 未満				メチルアルコール 67-56-1 アルミチューブ
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ)					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ・メチルアルコール					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE) 生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン 生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(データ無し) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input checked="" type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(ペースト状 臭い(甘い香り)) 色(黒色) 比重(0.9117) pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(6オンチューブ) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他(ダンボール有)
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (144) kg・t・kg・m ³ ・本・缶・袋・個) / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体の使用を禁止する。 ・保管の際、直射日光を避け、通風が良く、火気、熱源から離して保管すること。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・本品は、燃焼し、有毒ガスを発することがある。 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

30.1.22
35-44
(株)の物

製品安全データシート (MSDS)

航空用グリース, スプライン用

〔製造者情報〕

製造者 Syn-Tech Ltd.,
1433C W.Fullerton Ave. Addison, IL60101

輸入者 株式会社 クロサカ
住所 東京都千代田区神田神保町1-27-7
電話番号: 03-3291-0016 FAX番号: 03-3291-0015
作成・改訂日: 2016年11月6日

〔製品の特定〕

製品名: グリース NS-3913-G1 潤滑剤 (航空用グリーススプライン用)
製品説明 種類: 高荷重潤滑剤
主な用途: 航空スプライングリース

単一製品・混合物の区分: 混合物 (グリース)

〔物質の特性〕

成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)

成名	CAS No.	含有量 (重量%)	PRTR 該当	備考
潤滑油基油 (鉱油)	公開できず	75-85	—	
増ちょう剤	公開できず	10-15	—	
添加剤	公開できず	10<	—	
メチルアルコール	67-56-1	5<	該当	

〔GHSラベル要素〕

絵表示



注意喚起語: 危険

〔危険有害性の分類〕 分類の名称

- *急性毒性物質 メチルアルコール CAS No.67-56-1
- *接触限界 OSHA-PEL 200ppm, ACGIH-TLV 200ppm, 他 (皮膚) STEL250ppm
- *禁水性物質 データなし

危険有害性のコメント

本品は、燃焼し、有毒ガスを発することがある。

〔応急措置〕

目に入った場合

- *直ちに大量の清浄な流水で10分以上洗う。眼の裏まで完全に洗うこと。
- *出来るだけ早く医師の診断をうけること。

皮膚に付着した場合

- *付着物を布で素早く拭き取り、大量の水及び石鹸または皮脂用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
- *皮膚に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断をうけること。

吸入した場合

- *蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。
- *嘔吐物は飲み込ませないようにする。

- *直ちに医師の診断を受けること。
- *蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- *誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- *嘔吐物は飲み込ませないこと。

〔火災時の措置〕 使用可能消火剤 水 (×)、炭酸ガス (○)、泡 (○) 粉末 (○)、乾燥砂 (○) その他(ドライケミカル)

消火方法*適切な保護具を着用する。

- *可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。
- *指定の消火器を使用すること。
- *水を消化に用いてはならない。
- *火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので消火活動には距離を十分にとること。
- *高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

〔漏出時の措置〕

- *作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- *漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- *付着物、廃棄物などは関係法規の基づいて処置をする。
- *付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- *着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- *衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- *乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて回収する。
- *水をかけないこと。
- *河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

〔取扱、保管上の注意〕

取扱上の注意

- *換気の良い場所で取り扱う。
- *周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- *静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器は防爆型(安全増型)を使用する。
- *工具は火花防止型のものを使用する。
- *容器を加熱してはならない。加熱により容器が破裂する恐れがある。
- *皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、吸入したり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

保管上の注意

- *日光の直射を避ける。
- *通風の良いところに保管する。
- *水回りや湿気の高いところに置くと、容器が劣化し内容物が漏出することがある。
- *火気、熱源から遠ざけて保管する。
- *40℃以上になる所には置かないこと。

〔暴露防止措置〕

設備対策

- *取扱い設備は防爆型を使用する。
- *排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- *取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
- *取扱い場所は給排気が十分取れる設備とすること。
- *タンク内部の密閉場所で作業する場合には密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

〔暴露防止措置〕

保護具

呼吸系の保護

- *有機ガス用防毒、防塵マスクを使用する。
- *密閉された場所では、送気マスクを着用すること。

目の保護

- *保護メガネを着用する。

皮膚の保護

- *有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

その他の保護

〔製品の物理 化学的性質〕	状態	液体 ()、気体 () 固形状 ()、粉末状 ()、ペースト状 (○)
	色	黒色ペースト状
	臭気	甘い香り
	融点	データなし
	蒸気圧	データなし
	密度 (比重)	データなし 0.9117
	pH	該当せず
	その他	特に無い

〔危険性情報〕

製品特徴

引火点	データなし
発火点	データなし
爆発限界	データなし

反応性、安定性情報

データなし

〔有害性情報〕

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
メチルアルコール		200ppm		

製品に関する有害性情報

*製品としての安全性試験は行っていない。

ホルムアルデヒド放散等級

入手不可

〔環境影響情報〕

*漏洩時、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので注意をすること。

〔廃棄上の注意〕

- *廃残料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- *容器、機器装置等を洗浄した廃水等は地面や廃水溝へそのまま流さないこと。
- *廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- *廃残料などを焼却する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。

【輸送上の注意】 共通：取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送：船舶安全法 非危険物 個別運送及びばら積み運送において、

航空法： 非危険物

国連番号：

注意事項： 可燃性固体なので「火器注意」

【主な適用法令】

*高圧ガス取締法	: 該当せず
*消防法	: 第4類第4石油類 危険等級Ⅲ
*労働安全衛生法施行令	: 施工例別表第6の2有機溶剤（第2種有機溶剤）
*有機溶剤中毒予防規則	: 該当なし。
*化学物質管理促進法	: MSDS対象物質
*船舶安全法	: 非危険物
*航空法	: 非危険物

【その他】

注意 危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
 ※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341	茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	ブレーキ液, 自動車用					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	グリコールエーテル類 65~75wt%				MSDSがある場合、CAS No.
	他	ポリグリコール類 25~35wt% 防錆剤 <1wt%				
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input checked="" type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロペン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキササン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。				
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(131℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(マイルドな溶剤臭) 色(淡黄色透明) 比重(1.05) pH(9.5前後) 沸点(230℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(18L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) (3) kg・t・% m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁 ・保管の際、直射日光を避け、通風が良く、火気、熱源から離して保管すること。 ・アルカリ性のため酸との接触を避ける。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 ・その他安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

1.9.10 装 22

安全データシート

1. 化学物質等（製品）及び会社情報

製品名	ブレーキ液、自動車用
会社名	谷川油化興業株式会社
住所	神奈川県横浜市鶴見区矢向 1-13-11
担当部門	技術開発部
担当者	安部 裕司
電話番号	045-581-6635
FAX番号	045-573-4347
メールアドレス	info@tanikawayuka.co.jp
緊急連絡の電話番号	045-581-6635
奨励用途及び使用上の制限	自動車用非鉱油系ブレーキ液及びクラッチ用作動液・3種
製品分類	ブレーキフルード
作成日	2012年10月5日
改正日	2018年8月31日
整理番号	11010

2. 危険有害性の要約

重要な危険有害性 特記する危険有害性は知られていない。

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
生殖毒性	区分 1B
標的臓器毒性（反復暴露）	区分 1（腎臓、肝臓）

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



危険

注意喚起語

危険有害性情報

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる又は反復暴露による肝臓、腎臓の障害

注意書き

- 【安全対策】
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
 - ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・ミスト、蒸気を吸入しないこと。
 - ・取扱い後は手をよく洗うこと。

- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
- 【応急措置】
 - ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・暴露又は暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 - ・気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
 - ・眼の刺激が続く場合：医師の手当てを受けること。
- 【保管】
 - ・施錠して保管すること。
- 【廃棄】
 - ・内容物および容器を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : 自動車用非鉱油系ブレーキ液・3種

成分等一覧

成分名	含有量 (wt%)	化学式	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
グリコールエテル類	65～75	非公開	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当
ポリグリコール類	25～35	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
防錆剤	1未満	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当

- 化審法 No. : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示整理番号
- 安衛法 No. : 労働安全衛生法施行令18条の2 別表第9「名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物」に記載の政令番号
- 安衛法 No. : 労働安全衛生法第57条の2第1項政令指定物質の政令番号
- PRTR 法 No. : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律（PRTR 法）の対象物質の政令番号
- 毒劇法 : 毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・吸入の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、石鹸で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・この製品は引火性なので、火気に注意して措置する。
- ・汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

- 目に入った場合
- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
 - ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
 - ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
 - ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける事。
- 飲み込んだ場合
- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
 - ・直ちに医師の診断を受けること。
 - ・無理に吐かせないこと。
 - ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。
- 最も重要な兆候及び症状
- ・特になし
- 応急措置をする者の保護
- ・特になし
- 医師に対する特別注意事項
- ・特になし

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

- ・粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水
- ・冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
- ・燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす化学物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

- 環境に対する注意事項
- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 回収、中和
- ・少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。
 - ・多量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 - ・アルカリ性の製品なので、必要があれば酸(希塩酸、希硫酸等)で中和する。
 - ・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
 - ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。
- 二次災害の防止法
- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
 - ・付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 - ・火花を発生しない安全な用具を使用する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
 - ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
 - ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
 - ・ミスト、蒸気を吸入しないこと。
- 保管
- 適切な保管条件
- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。
 - ・酸と一緒に保管してはならない。
 - ・指定数量(4000L)以上の量を取り扱う場合は、法に決められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所でおこなう。
- 安全な容器包装材料
- ・特になし
8. 暴露防止及び保護措置
- 設備対策
- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 - ・屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。
- 管理濃度
- ・設定なし
- 許容濃度
- ・日本産業衛生学会(2006年度版)：設定なし
 - ・ACGIH(2006年度版)：設定なし
- 保護具
- 呼吸器の保護具
- ・保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。
- 手の保護具
- ・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。
 - ・必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。
- 目の保護具
- ・保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

- 皮膚及び身体の保護具 ・安全靴を使用する。
適切な衛生対策 ・保護具等は定期的に点検を行う。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡黄色透明液体
臭い	: マイルドな溶剤臭
pH	: 9.5 前後 (50%水溶液 23°C)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: 230°C
引火点	: 131(開放式)
燃焼性	: あり
燃焼又は爆発範囲下限、上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重 (相対密度)	: 1.05 (g/cm ³ , 15/4°C)
溶解性	: 水、メタノール、エタノールに溶解
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度 (発火点)	: データなし
分解温度	: データなし
その他のデータ	: 特に有用な情報無し

10. 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	: 通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応性の可能性	: 特になし。
避けるべき条件	: 特になし。
混触危険性物質	: 特になし。
危険有害な分解生成物	: 特になし。
その他	: 特になし。

11. 有害性情報

製品全体としての有害性情報

JIS Z7252 : 2014 に基づき混合物分類計算を行って得られた結果を表示する。

急性毒性 (経口)	: 本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。
急性毒性 (経皮)	: 本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。
急性毒性 (蒸気)	: 本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

：本製品は区分 1、2A を含有している。これを“表 B.9—加成方式が適用できる混合物を眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性として分類するための成分濃度”に基づき分類した結果、区分 2A と判定した。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

：本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。

生殖細胞変異原性

：データ不足のため分類できない。

発がん性

：データ不足のため分類できない。

生殖毒性

：本製品は区分 1B、2 を含有している。これを“表 B.22—生殖毒性物質として分類する混合物成分の濃度限界”に基づき分類すると、区分 1B となる。従って区分 1B と判定した。

特定標的臓器毒性（単回暴露）

：本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。

特定標的臓器毒性（反復暴露）

：本製品は区分 1 及び区分 2 を含有している。これを“表 B.29—特定標的臓器毒性物質として分類する混合物成分の濃度限界”に基づき分類すると区分 1（腎臓、肝臓）となる。区分 1（腎臓、肝臓）と判定した。

吸引性呼吸器有害性

：本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当する。区分外と判定した。

12. 環境影響情報

製品全体としての有害性情報

JIS Z7252：2014 に基づき混合物分類計算を行って得られた結果を表示する。

水生環境有害性

急性

：本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。

長期間

：本製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため区分外に該当するが、分類できない化学物質を限界値以上含有するので、分類できないと判定した。

13. 廃棄上の注意

- ・内容物や容器の廃棄の際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに業務委託して処理をすること。
- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 国連分類 ・非該当
 国連番号 ・非該当

国内規制

- 容器イエローラベル ・低、中程度の危険性物質（環境有害性物質等） 171
 積載方法 ・運搬時の積み重ね高さは3m以下
 混載禁止 ・第1類及び第6類の危険物
 ・高压ガス

ただし積載量が指定数量の10分の1以下の場合はこの限りではない。

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・「火気厳禁」
- ・容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・荷崩れ防止を確実に行う。
- ・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・直射日光を避ける。
- ・水濡れ厳禁。
- ・横積み厳禁。
- ・夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接おかないこと。
- ・輸送容器は衝撃を与えないように、丁寧に扱う。転倒したり、激突させたりしない。
- ・指定数量以上危険物を車両で運搬する場合は、総務省令で定めるところにより当該車両に標識を掲げること。またこの場合、当該危険物に該当する消火設備を備えること。
- ・海上輸送は、船舶安全法の定めるところに従うこと。
- ・航空輸送は、航空法の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

- 火薬類取締法 : 対象外
 高压ガス保安法 : 対象外
 消防法 : 内容量 0.5L, 1L, 18L, 200L (荷姿による)
 第四類第3石油類水溶性危険等級III (指定数量: 4000L)
 毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)
 : 非該当 (該当化学物質は含有しない)
 労働安全衛生法 : 非該当。
 労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)
 : 非該当 (該当化学物質は含有しない)
 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法 (PRTR 法)
 : 非該当 (該当化学物質は含有しない)
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) JIS Z7253:2012
- 2) GHSに基づく化学品の分類方法 JIS Z7252:2014
- 3) GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
- 4) 中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ
- 5) 15107の化学品 (化学工業日報社)
- 6) JACA (日本オートケミカル工業会) 編集: 化学物質管理データベース
- 7) オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版 (日本オートケミカル工業会)
- 8) 危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)
- 9) Chemwatch データベース
- 10) 原料メーカーのSDS

※注意

安全データシートは、危険有害な化学品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
 ※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	グリース, NB52					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	合成炭化水素油				MSDSがある場合、CAS No.
	他	バリウムコンプレックス石けん 添加剤 鉱油 <1wt%				
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ・容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・ 不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(データ無し) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(ゲリース状) 臭い(オイル臭) 色(乳白色) 比重(0.96) pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・ 無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1Kg缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input checked="" type="checkbox"/> その他(ダンボール有)
14	排出頻度 数量	頻度(スポット ・継続予定) (253) kg・t・%・m3・本・缶・袋・ 個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・ 無)	

【参考】その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・**サンプル無**・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート (SDS)

30.2-8

クリス, NB52

作成日 2011年01月06日
改訂日 2015年05月06日

(株)ノック

1. 化学品及び会社情報

製品名 : ISOFLEX TOPAS NB 52

会社名 : NOKクリューバー株式会社
住所 : 東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル
担当部署 : 品質管理部 品質管理課
TEL:0293-43-0426 FAX:0293-43-3817
E-Mail アドレス: nkiqc@nokklueber.co.jp

推奨用途 : 潤滑用途

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
健康有害性	急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入) 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性	区分外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境有害性	水生環境有害性 (急性) 水生環境有害性 (慢性) オゾン層への有害性	分類できない 分類できない 区分外

GHSラベル要素 :

[シンボル]	分類基準に該当しない
[注意喚起語]	分類基準に該当しない
[危険有害性情報]	分類基準に該当しない
[注意書き]	
予防策	分類基準に該当しない
対応	分類基準に該当しない

保管 分類基準に該当しない

廃棄 分類基準に該当しない

GHS分類以外 :

他の有害性 長時間における皮膚との接触により炎症を起こすことがある。

他の物理化学的危険性 特になし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 合成炭化水素油系潤滑剤

成分	CAS番号	官報公示整理番号	含有量
合成炭化水素油	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	-
パリウムコンプレックス石けん	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	-
添加剤	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	-
鉱油	企業秘密により開示不可	企業秘密により開示不可	<1wt%

4. 応急措置

吸入した場合 : 大量に吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保つ。必要なら医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着物を拭き取り、水と石けんでよく洗う。かゆみや炎症などの症状がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 霧状の強化液、泡、二酸化炭素、粉末が有効。消火の際、棒状の水を用いてはならない。

特有の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : ばく露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。必要であれば、十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
付近の着火源、高温体、可燃物を取り除き、消火機材を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 本製品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止するため、本製品がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合はヘラ、スコップ等を使うか、土砂などに吸着させて蓋付きの空容器に回収し、ウエス等できれいに拭き取る。
火花を発生しない安全な器具等を使用する。
多量の場合は、土砂などで流れを止めた後で回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 接触の恐れがある時は適切な保護具を使用する。
- 安全取扱注意事項 : 原則として常温で取り扱い、その際、水分、夾雑物等の混入に注意すること。
ばく露防止のため、保護具を使用して作業を行う。皮膚への接触を避ける。
- 適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙をしない。

保管

- 安全な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 屋内作業には適切な局所排気装置を使用することが望ましい。
- 管理濃度 : 規定なし
- 許容濃度 : 現在のところ知見なし

保護具

- 呼吸用保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスクを着用
- 手の保護具 : 耐油性の保護手袋
- 目の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态、形状 : グリース状
- 色 : 乳白色
- 臭い : オイル臭
- 比重 : 約0.96 (20°C)
- pH : データなし

滴点又は流動点	: >240°C (滴点、JIS K2220, 8)
沸点	: データなし
引火点	: 適用されない
発火点	: データなし
爆発限界 (下限)	: データなし
爆発限界 (上限)	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
水溶解性	: 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性なし
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 通常の条件下では発生しない

11. 有害性情報

急性毒性	: 【経口】 計算式 $100 / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$ の合計 より得られた毒性推定値が2000より大きいため、区分外とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 長時間における皮膚との接触により炎症を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 現在のところ知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 現在のところ知見なし
生殖細胞変異原性	: 現在のところ知見なし
発がん性	: 現在のところ知見なし
生殖毒性	: 現在のところ知見なし
特定標的臓器毒性	

- 単回ばく露 : 現在のところ知見なし
反復ばく露 : 現在のところ知見なし
吸引性呼吸器有害性 : 現在のところ知見なし

1 2. 環境影響情報

- 生態毒性 : 現在のところ知見なし
残留性・分解性 : 現在のところ知見なし
生体蓄積性 : 現在のところ知見なし
土壌中の移動性 : 現在のところ知見なし
その他の情報 : 現在のところ知見なし

1 3. 廃棄上の注意

- (1) 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
(2) 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去しておくこと。
(3) 廃棄は法令に従い、適切に処理すること。

1 4. 輸送上の注意

- 注意事項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

国際法規制

- 航空・海上輸送 : 航空輸送は IATA、海上輸送は IMDG の規則に従う
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当
応急措置指針番号 : 非該当

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

表示対象物質 : 非該当

通知対象物質 : 鉱油 (No.168)

その他 :

化学物質管理促進法

第一種指定化学物質 : 非該当

第二種指定化学物質 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

水質汚濁防止法 : 排出基準 : ハルハキ抽出物質 (鉱油類) (5mg/L)

輸出入貿易管理令 : 別表1の16項 (キャッチオール規制)

16. その他の情報

(1) 引用文献

JIS Z 7252:2014 日本工業標準調査会
JIS Z 7253:2012 日本工業標準調査会
GHS改訂4版 GHS関係省庁連絡会議
GHS対応ガイドライン 日本化学工業会
GHS混合物分類判定システム (GHS改訂4版対応版) 経済産業省
GHS関係各省による分類結果 製品評価技術基盤機構

本製品安全データシートは、化学製品の工業的用途について、安全な取り扱いを確保するための参考資料として、一般的取り扱い等を前提として作成・提供されるものです。また、危険有害性の評価では現時点で入手した資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したわけではありません。取り扱う事業者の皆様は、これを参考として、自らの責任において個々の取り扱いの実態に応じた適切な処置を講じる必要があることをご理解の上、お使い頂きます様、お願い申し上げます。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
また、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	シリコングリース, TSK5421					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分 シリコン混和物				MSDSがある場合、CAS No.	
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(廃プラスチック)					
	<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	<input type="checkbox"/> アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) <input type="checkbox"/> 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) <input type="checkbox"/> カドミウム又はその化合物 (×) シクロメタン (×) シマジン (×) <input type="checkbox"/> 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) <input type="checkbox"/> 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) <input type="checkbox"/> 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) <input type="checkbox"/> 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) <input type="checkbox"/> シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) <input type="checkbox"/> PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質 届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	<input type="checkbox"/> 硫黄 (×) <input type="checkbox"/> 塩素 (×) <input type="checkbox"/> 臭素 (×) <input type="checkbox"/> ヨウ素 (×) <input type="checkbox"/> フッ素 (×) <input type="checkbox"/> 炭酸 (×) <input type="checkbox"/> 硝酸 (×) <input type="checkbox"/> 亜鉛 (×) <input type="checkbox"/> ニッケル (×) <input type="checkbox"/> 銅 (×) <input type="checkbox"/> アルミ (×) <input type="checkbox"/> アンモニア (×) <input type="checkbox"/> ホウ素 (×) <input type="checkbox"/> その他 (×)					

9	有害特性 (有・ 無 ・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(200℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(450℃) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(ペースト) 臭い(微臭) 色(白色) 比重(1) pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・ 無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法) ・特化則(特定化学物質障害予防規則) ・有機溶剤 ・毒劇物・悪臭 ・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(100gプラチューブ) <input type="checkbox"/> 車両() <input checked="" type="checkbox"/> その他(ダンボール有)
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (6) kg・t・kg・m ³ ・本・缶・袋・ 個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・ 無)	※取り扱い際に必要と考えられる注意事項 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 ・その他安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・**サンプル無**・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

TSK5421L

15160

3.3.11

(株)カワカ

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) : TSK5421L

シリコングリニス, TSK 5421L

製造業者/輸入業者/販売業者 : モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社
情報 : 東京都港区赤坂5丁目2番20号
赤坂パークビル

連絡先 : commercial.services@momentive.com

電話 : 03-5544-3100

FAX番号 : 03-5544-3101

緊急電話番号 : 03-5544-3111

0276-31-4118 (夜間・休日)

担当部門 : 製品安全管理本部

2 危険有害性の要約

GHS分類:

GHSラベル要素

絵表示:

注意喚起語: なし

危険有害性情報:

注意書き

安全対策: 該当しない

応急措置: 該当しない

保管: 該当しない

廃棄: 該当しない

GHS分類に該当しない他の危険有害性: なし。

TSK5421L

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候: データなし

非常事態の概要: データなし

3 組成及び成分情報

化学特性: シリコーン混和物

混合物

組成情報: 危険有害性成分は無い。

4 応急措置

吸入: 新鮮な空気のところでも安静にし、症状により医師の診断を受ける。

目に入った場合: 15分以上水で十分に洗い流す。医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。洗った後に症状が出た場合は、すぐに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合: 飲み込んだ場合、吐かせない。水を1杯飲ませる。被害者の意識がない時は何も飲ませてはならない。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。

急性及び遅発性の最も重要な徴候/症状

症状: データなし

危険: データなし

医師に対する特別な注意事項: 対処療法及び支持療法

5 火災時の措置

消火剤: 泡、二酸化炭素または粉末消火剤で消火する。

不適切な消火剤: データなし

TSK5421L

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置:	保護具を装備していない人の立ち入りを禁止する。個人用保護具を使用する。風上から作業する。
環境に対する注意事項:	下水溝、水路または地面に侵入しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
二次災害の防止策:	着火源を除去する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）:	適切な全体換気・局所排気装置を設置する。清潔な水の入った洗眼用ボトル。
安全取扱注意事項:	適切な保護衣、手袋および眼/顔面用保護具を着用する。着火源から離して保管する—禁煙。静電気による火花を避けるために容器および輸送設備にはアースを設置する。
接触回避:	データなし
適切な衛生対策:	データなし

保管

安全な保管条件:	密閉し、屋内冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料:	データなし

8 暴露防止及び保護措置

管理パラメータ

許容濃度:
知見なし。

保護具 (PPE)

呼吸用保護具:	該当なし
眼の保護具:	側面シールド安全メガネ

TSK5421L

手の保護具: データなし
皮膚及び身体の保護具: 耐化学性衣服 ゴム長靴着用。

9 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態:	固体
形状:	ペースト
色:	白
臭い:	微臭
臭いの閾値:	データなし
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲:	データなし
引火点:	200 °C
蒸発速度:	データなし
燃焼性(固体、気体):	データなし
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
燃焼限界—上限 (%):	データなし
燃焼限界—下限 (%):	データなし
爆発限界—上限 (%):	データなし
爆発限界—下限 (%):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度:	1.0 g/cm ³ (15 °C)
蒸気密度:	データなし
比重:	データなし
溶解度	
溶解度 (水):	不溶性
溶解度 (その他):	不溶性
n-オクタノール/水分配係数 log Pow:	データなし
自然発火温度:	450 °C
分解温度:	データなし
SADT:	データなし
粘度:	データなし
動粘度:	データなし

TSK5421L

10 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常状態で安定。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	データなし
混触危険物質:	強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解がおこる。
危険有害な分解生成物:	空気中において 150°C以上加熱すると、酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドが発生する。

11 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

経口
製品: データなし

経皮
製品: データなし

吸入
製品: データなし

反復投与毒性
製品: データなし

皮膚腐食性及び刺激性
製品: データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
製品: データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性
製品: データなし

発がん性
製品: データなし

日本産業衛生学会：発がん物質:

TSK5421L

発癌性成分は確認されていない。

日本。ISHL 指定発がん物質:

発癌性成分は確認されていない。

ヒトに対する発がんリスク評価に関する IARC モノグラフ:

発癌性成分は確認されていない。

生殖細胞変異原性

試験管内の (in vitro)

製品: データなし

生体内の (in vivo)

製品: データなし

生殖毒性

製品: データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

製品: データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

製品: データなし

吸引性呼吸器有害性

製品: データなし

その他の影響:

データなし

12 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 (急性)

魚類

製品: データなし

水生無脊椎動物

製品: データなし

水生環境有害性 (慢性)

魚類

製品: データなし

TSK5421L

水生無脊椎動物
製品: データなし

水生植物毒性
製品: データなし

残留性・分解性

生物分解
製品: データなし

BOD/COD比
製品: データなし

生体蓄積性

生物濃縮係数 (BCF)
製品: データなし

n-オクタノール/水分係数 (log Kow)
製品: データなし

土壤中の移動性
土壤中の移動性: データなし

環境区分に対する公知または予想される分布

オゾン層への有害性: データなし

他の有害影響: データなし

13 廃棄上の注意

一般情報: なし

廃棄方法: この製品は廃棄物および公衆浄化法に基づき産業廃棄物（廃油）に分類される。この法律および現地の規則にしたがって廃棄すること。

汚染容器及び包装: データなし

14 輸送上の注意

国際規則

IMDG - 国際海上危険物規則

TSK5421L

規制されていない

IATA

規制されていない

国による規制

国内規制: 国内法に従う。

15 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

化学物質排出把握管理促進法（化管法）、新規指定化学物質（平成 20 年政令第 356 号）：

特定第一種指定化学物質: 該当しない

第一種指定化学物質: 該当しない

第二種指定化学物質: 該当しない

労働安全衛生法:

通知対象物質(第 57 条の 2): 該当しない

表示対象物質(第 57 条): 該当しない

安衛法：有機溶剤等

安衛法：特定化学物質等

毒物及び劇物取締法:

特定毒物:

法: 該当しない

政令: 該当しない

毒物:

法: 該当しない

政令: 該当しない

劇物:

法: 該当しない

政令: 該当しない

高圧ガス保安法:

該当しない

TSK5421L

消防法:

指定可燃物 (合成樹脂類) 火気厳禁

化審法: 優先評価化学物質: 該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律: 該当しない

登録状況

オーストラリア工業化学品 (届出 審査) 法 (AICS):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
既存化学物質一覧 (EU):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
日本化審法 (ENCS):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
中国新規化学物質環境管理弁法 (IECSC):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
韓国有害物質管理法 既存物質リスト (KEGI):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
カナダ環境保護法国内物質リスト (DSL):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
カナダ環境保護法非国内物質リスト (NDSL):	n (ネガティブ [負の] リスティング)	注意: なし。
フィリピン化学物質管理法 (PICCS):	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。
米国有害物質規制法 (TSCA):	該当 (ポジティブリスト)	注意: TSCA インベントリに記載
台湾化学物質清單:	該当 (ポジティブリスト)	注意: なし。

16 その他の情報

改訂情報:

発行日: 12/06/2016

SDS管理番号:

免責条項:

注意事項

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社においてその安全性を事前にご確認のうえご使用ください。尚、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

詳しい情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

参考文献:

データなし

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	自動車用ホイールベアリンググリース					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分 鉱油 85~95wt% 他 リチウム石鹸 5~10wt% 2.6ジーターシャリーブチル-4-クレゾール <1wt%			MSDSがある場合、CAS No. 2.6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール 128-37-0		
	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機リン化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(200℃)・ <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input checked="" type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(半固体)・ 臭い(オイル臭) 色(淡褐色) 比重() pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 (なし)
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(16kg缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (4) kg・t・kg・m ³ ・本・缶・袋・個) / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・炎、火花又は高温物の使用を禁止する。 ・換気の良い場所で取り扱う。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 ・その他安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

整理番号	289075	製品名	自動車用ホイールベアリンググリース
作成改訂日	2021年2月4日	会社名	住鋳潤滑剤株式会社

安全データシート(SDS)

4.2.25

1 製品及び会社情報

製品名 : 自動車用ホイールベアリンググリース
 整理番号 : 289075
 会社名 : 住鋳潤滑剤株式会社
 住所 : 〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル
 電話 : 0120-954-528
 FAX : 03-5401-0471
 メールアドレス : Lub_SUMICO@smm-g.com

131169

4.2.25

2 危険有害性の要約

GHS分類

生殖毒性 : 区分2

記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

健康有害性



注意喚起語

警告

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
授乳中の子に害を及ぼすおそれ

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

成分及び含有量(wt%)

物質名	CAS No.	含有量(wt%)
鋳油	企業秘密	85~95
リチウム石鹸	企業秘密	5~10
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	128-37-0	<1

4 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水および石鹸で洗い流す。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。

整理番号	289075	製品名	自動車用ホイールベアリンググリース
作成改訂日	2021年2月4日	会社名	住鋳潤滑剤株式会社

出来るだけ早く医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合
 無理に吐かせないで、医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5 火災時の措置

消火剤

粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

特定の消火方法

水を消火に用いてはならない。
 可燃性のものを周囲から早く取り除く。
 指定の消火剤を使用すること。
 消火活動は風上より行う。
 初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。
 大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
 高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。

消火を行う者の保護

適切な保護具(耐熱性着衣)を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

除去方法

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。
 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ、大量の場合は盛り土で困って流出を防止する。
 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。
 風上から作業し、風下の人を退避させる。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

換気のよい場所で取り扱う。
 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
 静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 取扱い場所の近くに緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
 休憩場所には手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいけない。
 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着けて作業すること。

注意事項

発散した蒸気(粉じん)を吸い込まないようにする。
 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。

安全取扱い注意事項

容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。

整理番号	289075	製品名	自動車用ホイールベアリンググリース
作成改訂日	2021年2月4日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

容器はその都度密栓する。

保管

適切な保管条件

- 直射日光を避ける。
- 火気熱源から遠ざける。
- 通風のよい場所で容器を密閉し冷暗所に保管する。
- 防湿に留意する。
- 長期間の保管を避ける。

安全な容器包装材料

特になし。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

- 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにする。
- 取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれなような設備とすること。
- 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

管理濃度

物質名	管理濃度	許容濃度(ACGIH)
鉱油	データなし	TWA 5mg/m ³ (mist)
2,6-ジターシャリーブチル-4-クレゾール	データなし	TWA 2mg/m ³ (IFV)

保護具

呼吸器用の保護具

必要に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具

耐油性手袋

目の保護具

普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

皮膚及び身体の保護具

長袖作業服等

適切な衛生対策

- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- マスク等の吸着剤の交換は、定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

形状	: 半固体	
色	: 淡褐色	
臭い	: オイル臭	
pH	: データなし	
沸点(°C)	: データなし	
融点(°C)	: データなし	
引火点(°C)	: ≥ 200	(基油)
発火点(°C)	: データなし	
爆発特性(%)		
下限	: データなし	
上限	: データなし	
蒸気圧(KPa)	: データなし	
蒸気密度	: データなし	

整理番号	289075	製品名	自動車用ホイールベアリンググリース
作成改訂日	2021年2月4日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

密度(g/cm³) : 0.89
 溶解性 : 難水性
 オクタノール/水分配係数 : データなし
 分解温度 : データなし

10 安定性及び反応性

安定性

通常条件で安定

反応性

自己反応性なし

避けるべき条件

火気、酸化剤との接触

危険有害な分解生成物

燃焼等によりCO(一酸化炭素)、NO_x(窒素酸化物)、SO_x(硫黄酸化物)等が発生するおそれがある。

11 有害性情報

物質名	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入:ガス)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉塵、 ミスト)	皮膚腐食性/ 刺激性	眼に対する重篤 な損傷性/眼刺激性
鉱油	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
リチウム石鹸	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
2,6-ジターシャリ-ブチ ル-4-クレゾール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分2B

物質名	呼吸器感作性ま たは皮膚感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴 露)	特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴 露)	誤えん有害性
鉱油	呼吸器感作性: 分類できない、皮 膚感作性:分類で きない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
リチウム石鹸	呼吸器感作性: 分類できない、皮 膚感作性:分類で きない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
2,6-ジターシャリ-ブチ ル-4-クレゾール	呼吸器感作性: 分類できない、皮 膚感作性:分類で きない	分類できない	分類できない	区分2	区分1(神経系)	区分2(肺、肝臓)	分類できない

12 環境影響情報

整理番号	289075	製品名	自動車用ホイールベアリンググリース
作成改訂日	2021年2月4日	会社名	住鋺潤滑剤株式会社

物質名	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)	オゾン層への 有害性
鉱油	分類できない	分類できない	分類できない
リチウム石鹸	分類できない	分類できない	分類できない
2,6-ジターシャリブチル-4-クレゾール	区分1	区分1	分類できない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄方法

廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却装置等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。

廃棄物等を焼却処理する場合は、有毒ガス発生のおそれがあるため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。

汚染容器・包装の廃棄方法

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

14 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送

消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送

船舶安全法等に定められている運送方法に従う。

航空輸送

航空法等に定められている運送方法に従う。

輸出

輸出貿易管理令 別表第1の16の項に該当

国際規制

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

容器等級

該当しない

15 適用法令

高圧ガス保安法

該当しない

消防法

非危険物(指定可燃物 可燃性固体類)

整理番号	289075	製品名	自動車用ホイールベアリンググリース
作成改訂日	2021年2月4日	会社名	住鋳潤滑剤株式会社

労働安全衛生法

法57条の2(名称等を通知すべき有害物) 労働安全衛生法2021年1月1日より改正

鉱油

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール

法57条(名称等を表示すべき有害物) 労働安全衛生法2021年1月1日より改正

鉱油

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法)

該当しない

毒物及び劇物取締法(2020年7月1日より改正)

該当しない

粉じん障害防止規則

該当しない

水質汚濁防止法

施行令第3条生活環境汚染項目(排水基準) 鉱油 5mg/L以下

下水道法

施行令第9条排出基準 鉱油 5mg/L以下

海洋汚染防止法

法第4条 船舶からの油の排出の禁止 潤滑油(鉱油)

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(法2条化学物質)

優先評価化学物質 : 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

廃棄物処理法

産業廃棄物

16 その他の情報

引用文献

JIS Z 7253 (2019)

NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	ノンメテクロはく離剤, タイプ I					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	ベンジルアルコール 36~44%				MSDSがある場合、CAS No.
	他	過酸化水素 1.0~3.0% 界面活性剤 着色剤				過酸化水素 7722-84-1 ベンジルアルコール 100-51-6
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油* <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ、容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・ 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・ 非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	<input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)						

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(100℃で引火しない) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(℃) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input checked="" type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(粘性液体) 臭い(僅かな刺激臭) 色(乳桃色) 比重(0.9) pH(5.0~7.0) 沸点(100℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 ・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(16kg缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (3)kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・個) /年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・保管の際、直射日光を避け、通風が良く、火気、熱源から離して保管すること。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・飲み込むと有害 ・重篤な眼の損傷 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

15153

安全データシート

1. 物質または混合物および会社情報

製品名 : ノンメチクロ剥離剤、タイプ I (CBC E-2060)
 会社名 : 日本シー・ビー・ケミカル株式会社
 住所 : 東京都品川区南大井3丁目28番3号 大森プラザビル 4階
 電話番号 : 03-5767-6431
 FAX番号 : 03-5767-6437
 担当部門 : 技術部
 緊急連絡先 : 大船工場、技術部
 電話番号 : 0467-46-4144
 FAX番号 : 0467-47-0002
 推奨用途及び使用上の制限 : 塗装剥離剤及び工業用薬剤

4.2.22

カマキ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分5
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分1A
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器、中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(血液、呼吸器)
誤えん有害性	分類できない

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 分類できない
 水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない
 オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
 皮膚に接触すると有害のおそれ
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 吸入した場合、臓器(呼吸器、中枢神経系)の障害
 長期または反復暴露による臓器(血液、呼吸器)の障害

注意書き【安全対策】

使用前に取扱説明書を手入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 皮膚についた場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚(または髪)に : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
 付着した場合 皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師の診察/手当を受けること。
 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、承認された廃棄物処理場に廃棄すること。又は、都道府県
 知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成および成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分・化学名	過酸化水素	ベンジルアルコール	界面活性剤	着色剤
含有量	1.0~3.0%	36~44%	企業秘密	微量
化学式又は構造式	H ₂ O ₂	C ₇ H ₈ O	企業秘密	企業秘密
官報公示整理番号	(1)-419	(3)-1011	企業秘密	企業秘密
CAS No.	7722-84-1	100-51-6	企業秘密	企業秘密
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当	非該当	非該当	非該当
労働安全衛生法(表示対象物、通知対象物)	該当	該当	非該当	非該当

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、安静・保温に努める。
呼吸困難、呼吸停止、又は呼吸に関する症状が出た場合には、直ちに人工呼吸を行ない、速やかに医師の診察/手当を受けること。
- 皮膚(または髪)に：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除き、皮膚を多量の水と石鹸で洗い流すこと。
付着した場合 外観に変化が見られたり、痛み・炎症などの異常があったりした場合は、速やかに、医師の診察/手当を受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。直ちに診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合：口を清水ですすぎ無理に吐かせない。多量の水、又はミルクを飲ませ、直ちに医師の診察/手当を受けること。但し、意識のない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤：本製品は、消防法の危険物に該当しない。周辺火災に応じた消火剤を使用する。
小火災…二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂
大火災…散水、噴霧水、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤：棒状注水(火災を拡大するおそれがある為)
- 火災時の措置に関する：含有の過酸化水素自体は燃焼しないが、分解により発生する酸素ガスが周囲の特有の危険有害性 可燃物の燃焼を助け、火災を激しくするので注意が必要である(支燃性)がある。
又、火災によって刺激性、有毒及び又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
消火作業は風上より行う。火元への燃焼源を絶ち、消火剤を用いて消火する。
注水あった場合は安全な距離を確保し、遮蔽物を利用する。
又、放水銃等を利用し無人化を図る。必ず自給式呼吸具を着用する。
- 消火を行う者の保護：消火作業では、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：漏出区域は、ロープを張る等して関係者以外の人の出入りを禁止する。
保護具及び緊急時措置 漏出周辺は火気厳禁とし、炎・火花・高温体は遠ざけ、加熱は避ける。
漏出エリア内に立入る時は、保護具を着用し、風上で作業する。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項：河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
- 回収・中和：漏出した液はできるだけ空容器に回収し、残りはウェス・モップ等で拭取る。
回収した製品及び吸着したウェス等は、後で廃棄物処理業者に委託する等、関係法令に基づき産業廃棄物として適切に処分する。後処理として、漏出場所は大量の水を用いて洗い流す。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策：漏出物の上をむやみに歩かないこと。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い 技術的対策：本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
局所排気・全体換気：換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
- 注意事項 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしない。
容器の蓋を開ける時は、十分に注意して蓋を開ける。
この容器は使用の都度、専用の蓋を使用すること。換気の良い場所で取扱う。
皮膚・粘膜・着衣に触れない、目に入らないよう適切な保護具を着用する。
使用場所でみだりに火気を使用したり、その付近に着火源を置たりしないこと。
重金属類、強酸化剤やアルカリ性物質等の混触危険物との接触は避ける。

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

* (前項よりの続き) 取り扱い周辺は火気厳禁とし、炎・火花・高温体との接近、又は過熱は避ける。
一旦容器から出したものは、元の容器に戻さない。
製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗う。作業後の衣服は十分に洗濯すること。

保管 技術的対策：保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にし、採光と換気装置を設置する。
保管条件：直射日光は避け、室内(*推奨 温度5℃～35℃)にて保管すること。
他の薬品(特に強酸化剤や強アルカリ性物質)とは離して保管する。
特に可燃物や還元性物質等の過酸化水素の分解を促進する物質と混合貯蔵しない。
容器には通気孔付の蓋を使用し、完全密封の状態にしない。
容器を転倒、転落しない様に保管する。

容器包装材料：ポリエチレン、ポリプロピレン等

共通注意事項：取扱い及び保管にあたり、過酸化水素の分解を促進する材質を使用してはならない。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：製品として設定値なし。(作業環境評価基準)

許容濃度：日本産業衛生学会 … 製品については設定されていない。

ACGIH … 製品については設定されていない。

・組成物質 過酸化水素について

日本産業衛生学会 … 設定されていない。

ACGIH(2010年度版) … 1ppm(TLV-TWA) (H₂O₂として)

設備対策：局所換気、又は全体換気を適正に行う。

取り扱い場所には安全シャワー、洗眼装置を設置し、その位置を明示する。

保護具：呼吸系の保護具…防毒マスク(有機溶剤用、酸素濃度18%以下のみ)、送気マス

手の保護具…耐溶剤性(ゴム製等)の保護手袋

眼の保護具…シール性の良い保護眼鏡、ゴーグル

皮膚及び身体の保護具…耐溶剤性(ゴム製等)保護手袋、保護長靴、保護衣(ゴム前掛け等)
長袖作業衣を着用する。

衛生対策：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的および化学的性質

外観等：乳桃色粘性液体

蒸発速度：酢酸ブチルより遅い

比重：約0.9以上 (at 25℃、嵩比重)

可燃性：なし(尚、水分が蒸発した場合のみ、あり)

pH：5.0～7.0 (at 25℃)

引火点：沸点(約100℃)で引火しない

臭気：僅かの刺激臭

発火性：なし

沸点：約100℃

酸化性：酸化剤である過酸化水素を含有

融点：データなし

支燃性：分解すると支燃性の酸素ガスを発生する

凍結温度：0℃以下

溶解度：水に一部溶解

10. 安定性および反応性

安定性：異物(重金属、アルカリ、酸化され易い有機物等)が混入しない限り安定。

含有の過酸化水素は、徐々に分解し酸素を発生する。

危険有害反応可能性：含有の過酸化水素は、強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と激しく反応し、特にある種の金属が存在すると火災及び爆発の危険をもたらす。

白金、銀、銅、鉄、クロム、マンガン等と接触すると、急激に分解して酸素ガス及び熱を発生し、密閉容器では破裂することがある。繊維、紙等多くの有機物を侵す。

加温や光の影響により分解し、酸素を生じて火災の危険性を増大させる。

避けるべき条件：高温、直射日光、加熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質：重金属、アルカリ、酸化され易い有機物、鉄、銅、銅合金等

危険有害な分解生成物：加熱分解により酸素ガス、燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素等を生じる。

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

11. 有害性情報

組成物質有害性 過酸化水素について

急性毒性：経口 ラット雄(Wistar-JCL) LD₅₀ 1,518 mgH₂O₂/kg (9.6%HO使用時)
 ラット雄・雌(Crl:CD BR) LD₅₀ 805 mgH₂O₂/kg (70%HO使用時)

刺激性：眼、皮膚を刺激し炎症をおこす。

亜急性毒性：雄ラット(Wistar) 経口 60mgH₂O₂/kg/day 投与時、20日後より発育抑制が認められた。
 (0.6wt/vol% H₂O₂ 使用時)

雄ラット(Wistar-JCL) 経口 56.2mgH₂O₂/kg/day を、6日/週で12週間投与時無影響。
 (5wt/vol% H₂O₂ 使用時)

がん原生：マウス(C57BL)に、H₂O₂ を含む飲料水を740日間投与。十二指腸にがんの発生例あり。
 (飲料水中のH₂O₂ 濃度は0.1及び0.4%)

ラット(Fisher F344)に、H₂O₂ を含む飲料水を78週間投与。がん原生認められず。
 (飲料水中のH₂O₂ 濃度は0.3及び0.6%)

IARCによる発がん性リスク評価は、グループ3(1987年)

グループ3：ヒトに対する発がん性について分類できない。(この分類は、発がん性の証拠がヒトで不十分であり、実験動物で不十分か、もしくは限られている場合に用いられる。)

ACGIHによる発がん性リスク評価は、A3(1996年) [A3:動物に発がん性を示す物質]

[作業員への暴露に関連させるには適切とは考えられない条件(比較的高用量、投与経路、発生部位、組織学的種類、機構)で、実験動物に発がん性を示すもの。]

入手可能な疫学的研究では、暴露したヒトでの発がんリスクの増大が確認されていない。
 入手可能な証拠によれば、暴露経路や量が普通でない、もしくはありそうもない場合を除き、ヒトにがんを起こすとは考えられないことが示唆されている。]

変異原生：サルモネラ(Tprimordium)菌に対し、弱い変異原物質である。

製品に関する有害性

刺激性：皮膚・粘膜の刺激性がある。眼に入ると失明の恐れあり。

吸入した場合：鼻と呼吸器に刺激、吐き気、頭痛

飲み込んだ場合：吐き気、むかつき、下痢

12. 環境影響情報

組成物質環境影響性 過酸化水素について

水生環境急性有毒性：海水魚(アイゴ)	LC ₅₀	224 mgH ₂ O ₂ /L/24hr
海水魚(シマハギ)	LC ₅₀	155 mgH ₂ O ₂ /L/24hr
海水魚(マアジ)	LC ₅₀	89 mgH ₂ O ₂ /L/24hr
淡水魚(コイ)	LC ₅₀	42 mgH ₂ O ₂ /L/48hr
珪藻(Nitzschia)	EC ₅₀	0.85 mgH ₂ O ₂ /L/72hr
甲殻類(ミジンコ)	EC ₅₀	2.4 mgH ₂ O ₂ /L/48hr (EU-RAR, 2003)

製品に関する環境影響性

河川、湖沼等の富栄養化の原因となる物質、及び毒性を有する成分を含有している。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

含有する過酸化水素を還元剤(亜硫酸ナトリウム等)や金属類と徐々に反応分解して、関係法令を遵守し焼却等で処理廃棄する。

これらを含む排水は排水基準に適合していることを確認のうえ廃棄する。

過酸化水素が、活性汚泥処理設備に流されると問題を生ずることがある。

尚、はく離した塗膜やはく離剤残査の廃棄は、ポリエチレン等の内面コートした容器又はステンレス製容器に約5~7割程入れ、異物が混入しない様に蓋を置き(絶対に密栓しない)約1週間放置して過酸化水素を分解し、産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

* (前項よりの続き) 廃溶剤等の埋め立て処分を行う場合は、予め焼却施設を用いて焼却し、その燃え殻については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを、確認しなければならない。

燃焼する場合は、安全な場所であつ燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で、そのまま又は助燃剤と共に燃焼させると共に、見張り人をつけること。

又、これらを含む排水は関係法令を遵守し適切な設備で中和処理後、活性汚泥法・活性炭吸着法等の処理により清浄にし、排出基準に適合しているか確認の上で排出する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にして、関係法令並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

小型運搬容器を用いる運搬に際しては、容器に漏れのないことと適法な外装の施こされていることを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

固定容器、積載式容器を用いる運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、積み込み時、運搬中、積卸し時に漏れ防止を確実にを行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。移送時にイエローカードの保持が必要。

国際規則

海上規制情報 IMOの規定に従う

UN No. Not applicable
 Proper Shipping Name Not applicable
 Class Not applicable
 Packing Group Not applicable
 Marine Pollutant Not applicable

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う

UN No. Not applicable
 Proper Shipping Name Not applicable
 Class Not applicable
 Packing Group Not applicable

国内規則

陸上規制情報 該当しない
 海上規制情報 該当しない
 国連番号 非該当
 品名 非該当
 クラス 非該当
 容器等級 非該当
 航空規制情報 該当しない
 UN No. 非該当
 Proper Shipping Name 非該当
 Class 非該当
 Packing Group 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物

(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

「過酸化水素 No.126、ベンジルアルコール No.530 の2」

名称等を通知すべき危険物及び有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

「過酸化水素 No.126、ベンジルアルコール No.530 の2」

危険物・酸化性の物(施行令別表第1第3号)

「過酸化水素」

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第13版

化学物質排出把握管理促進法：非該当
(PRTR法)

毒物及び劇物取締法：非該当 [該当成分(過酸化水素)の含有量6%以下の為。]

消防法：非該当

水質汚濁防止法：pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質量等(排水となった場合)
指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)(排水となった場合)
「No.4 過酸化水素」

大気汚染防止法：揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
「ベンジルアルコール(排気)」

海洋汚染防止法：有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
「ベンジルアルコール」
有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
「界面活性剤」

廃棄物の処理及び：廃棄する場合(産業廃棄物)
清掃に関する法律

外国為替及び：輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
外国貿易法 HS3814.00.000 ペイント用調整除去剤

16. SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報

作成、改訂：作成 … 2011年01月21日

改訂 … 2021年01月05日 第13版 *改訂内容:改正労安法を反映

参考文献：GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHSモデルSDS情報 中央労働防災防止協会 安全衛生情報センター HP

JIS-Z-7250,7251,7252,7253

[注意]危険・有害性の評価は必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。(F.S.)

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	ノンメチクロはく離剤, タイプII					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	水 55~60%				MSDSがある場合、CAS No.
	他	ベンジルアルコール 40%~50% 2-アミノエタノール 1%未満 アンモニア 0.3~0.6% 界面活性剤 腐食抑制剤 増粘剤 着色剤				水 7732-18-5 ベンジルアルコール 100-51-6 2-アミノエタノール 141-43-5 アンモニア 1336-21-6
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input checked="" type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキササン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・兼該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2-アミノアセトフェン <input type="checkbox"/> 3-アミノアセトフェン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(100℃で引火しない) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(℃) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input checked="" type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input checked="" type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(粘性液体)・臭い(アンモニア臭) 色(淡青色) 比重(1.0) pH(11~12) 沸点(100℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 ・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(18kg缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (3) kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱い際に必要と考えられる注意事項 ・保管の際、直射日光を避け、通風が良く、火気、熱源から離して保管すること。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・飲み込むと有害 ・重篤な眼の損傷 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

154
4.2.22

安全データシート

クワカ

1. 物質または混合物および会社情報

製品名 : ノンメチクロ剥離剤、タイプII (CBC E-2050)
 会社名 : 日本シー・ビー・ケミカル株式会社
 住所 : 東京都品川区南大井3丁目28番3号 大森プラザビル 4階
 電話番号 : 03-5767-6431
 FAX番号 : 03-5767-6437
 担当部門 : 技術部
 緊急連絡先 : 大船工場、技術部
 電話番号 : 0467-46-4144
 FAX番号 : 0467-47-0002
 推奨用途及び使用上の制限 : 塗装剥離剤及び工業用薬剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分5
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分2
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(肝臓、神経系)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(肝臓、呼吸器、消化管、神経系、腎臓、精巣)
誤えん有害性	分類できない

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分3
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3
 オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
 皮膚刺激
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 重篤な眼の損傷
 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
 発がんのおそれの疑い
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 経口または吸入した場合、臓器(肝臓、神経系)の障害
 長期または反復暴露による臓器
 (肝臓、呼吸器、消化管、神経系、腎臓、精巣)の障害

水生生物に有害

長期的影響により水生生物に有害

注意書き【安全対策】使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。

皮膚についた場合：多量の水/石鹸で洗うこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して

いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物や容器は、承認された廃棄物処理場に廃棄すること。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

3. 組成および成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分・化学名	2-アミノエタノール	アンモニア	ベンジルアルコール	界面活性剤
含有量	1.0%未満	0.3~0.6%	40~50%	企業秘密
化学式又は構造式	NH ₂ (CH ₂) ₂ OH	NH ₃	C ₇ H ₈ O	企業秘密
官報公示整理番号	2-301	1-314	(3)-1011	企業秘密
CAS No.	141-43-5	1336-21-6	100-51-6	企業秘密
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当 (1.0%未満の為)	非該当	非該当	非該当
労働安全衛生法(表示対象物)	非該当(1.0%未満の為)	該当	該当	非該当
労働安全衛生法(通知対象物)	該当	該当	該当	非該当

成分・化学名	腐食抑制剤	増粘剤	着色剤	水
含有量	微量	微量	微量	55~60%
化学式又は構造式	企業秘密	企業秘密	企業秘密	H ₂ O
官報公示整理番号	企業秘密	企業秘密	企業秘密	-
CAS No.	企業秘密	企業秘密	企業秘密	7732-18-5
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当	非該当	非該当	非該当
労働安全衛生法(表示対象物)	非該当	非該当	非該当	非該当
労働安全衛生法(通知対象物)	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
呼吸に関する症状が出た場合には、速やかに医師の診察/手当を受けること。
- 皮膚(又は髪)に : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除く。皮膚を多量の水と石鹸で洗う。
付着した場合 外観に変化が見られたり、痛みがあったりした場合は、医師の診察/手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。直ちに診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水、又はミルクを飲ませ、直ちに医師の診察/手当を受けること。
口を清水ですすぎ無理に吐かせない。意識のない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 本製品は、消防法の危険物に該当しない。周辺火災に応じた消火剤を使用する。
小火災 … 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂
大火災 … 散水、噴霧水、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水(火災を拡大するおそれがある為)
- 火災時の措置に関する : 加熱により容器が爆発する恐れがある。火災によって刺激性、毒性、又は腐食性特有の危険有害性のガスを発生するおそれがある。消火水は汚染を引き起こすおそれがある。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は風上より行う。
火元への燃焼源を絶ち、消火作業は風上より行ない消火剤を用いて消火する。
注水あったては安全な距離を確保し、遮蔽物を利用する。
又、放水銃等を利用し無人化を図る。必ず自給式呼吸具を着用する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出区域は、ロープを張る等して関係者以外の人の出入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 漏出エリア内に立入る時は、保護具を着用し、風上で作業する。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

環境に対する注意事項：河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。

回収・中和：漏出した液はできるだけ空容器に回収し、残りはウェス・モップ等で拭取る。

回収した製品及び吸着したウェス等は、後で廃棄物処理業者に委託する等、関係法令に基づき産業廃棄物として適切に処分する。後処理として、漏出場所は大量の水を用いて洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策：漏出物の上をむやみに歩かないこと。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 技術的対策：本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。

局所排気・全体換気：換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

安全取扱い：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。

注意事項 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしない。

換気の良い場所で取り扱うこと。皮膚・粘膜・着衣に触れない、目に入らないよう

適切な保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。作業後の衣服は十分に洗濯する。

保管 技術的対策：保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にし、採光と換気装置を設置する。

保管条件：直射日光は避け、室内にて保管すること。容器を転倒、転落しないように保管する。

他の薬品(特に酸性物質)は離して保管すること。

容器包装材料：ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：製品として設定値なし。(作業環境評価基準)

許容濃度：日本産業衛生学会 … 製品については設定されていない

ACGIH … 製品については設定されていない

・組成物質 2-アミノエタノールについて

日本産業衛生学会(2015年度版) … 3ppm(7.5mg/m³)

ACGIH(2015年度版) … 3ppm(7.5mg/m³) (TLV-TWA),

6ppm(TLV-STEL)

OSHA … 3ppm(TWA, PEL)

・組成物質 アンモニアについて

日本産業衛生学会(2010年度版) … 25ppm(17mg/m³), (NH₃として)

ACGIH(2010年度版) … 25ppm (TLV-TWA), (NH₃として)

40ppm (TLV-STEL), (NH₃として)

設備対策：局所換気、密閉式、又は全体換気を適正に行う。

取り扱い場所には安全シャワー、洗眼装置を設置し、その位置を明示する。

保護具：呼吸系の保護具…防毒マスク(有機溶剤用、酸素濃度18%以上のみ)、送気マス

手の保護具…耐溶剤性(ゴム製等)の保護手袋

眼の保護具…シール性の良い保護眼鏡、ゴーグル

皮膚及び身体の保護具…耐溶剤性(ゴム製等)保護手袋、保護長靴、保護衣(ゴム前掛け等)

長袖作業衣を着用する。

衛生対策：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的および化学的性質

外観等：淡青色粘性液体

比重：約1.0 (at 25°C、嵩比重)

pH：11~12 (at 25°C)

臭気：アンモニア臭

沸点：約100°C

融点：データなし

可燃性：可燃物を含有

引火点：沸点(約100°C)で引火しない

発火性：なし

揮発性：データなし

酸化性：なし

溶解度：水に一部溶解

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

10. 安定性および反応性

安定性 : 通常の運搬、保管においては安定

自己反応性 : なし

危険有害反応可能性 : 強酸化剤と混触すると、反応し激しく反する。酸性物質と混触すると、発熱する。

避けるべき条件 : 日光、熱、加熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質 : 強酸化剤、酸性物質

危険有害な分解生成物 : 燃焼すると、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物等

11. 有害性情報

組成物質有害性 2-アミノエタノールについて

急性毒性 :	経口	ラット	LD ₅₀	2,100 mg/kg
		モルモット	LD ₅₀	6,610 mg/kg
	皮下	マウス	LD ₅₀	2,540 mg/kg

亜急性毒性 : イヌ、ラット、モルモットは12~25ppm・90日間の吸入で死ななかった。

しかしイヌでは100ppm、齧歯(げっし)類では66~75ppmの吸入で24~30日間の間に死んだ例があった。皮膚刺激と昏睡は、5及び12ppmで観察された。

動物への経口投与では、ラットにおける90日間の亜急性毒性実験で、無作用量は1日あたり320mg/kgであり、肝・腎の重量変化は、648mg/kgで、顕微鏡的变化及び死は1,280mg/kgで現れた。

2-アミノエタノール0.267mlを1回/日・40日間経口投与したウサギでは、食欲低下、口内出血、よだれがあり、貧血も認められた。又、35日目頃からは、衰弱が目だった。

病理所見としては、胃の出血の他、はく離性肺炎、肝・腎の腫大、腎実質炎が認められた。

皮膚腐食性 : ガーゼに湿らせた原液を人の皮膚に90分つけておいた場合、皮膚に著明な発赤と浸潤を生じるのみである。

眼刺激性 : 製品が眼に入るとかなり刺激を受けることが有るが、適当な治療を受ければ障害となることはない。

感作性 : 一度付着したところに数回繰り返し付着すれば過敏な人はアレルギー症状を呈することがある。

その他 : 強い血管拡張作用をもっている。

組成物質有害性 アンモニについて

急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ 350 mg/kg (NH₃として)

アンモニ濃度が100ppmで刺激を感じ、5,000~10,000ppmで呼吸停止を起こし、短時間で死亡することがある。

皮膚腐食性 : 薬傷を起こす。

刺激性 : 眼に入ると結膜や角膜に炎症を起こし、失明する危険性が高い。

蒸気を吸入すると呼吸器官を強く刺激し、肺水腫を起すことがある。

製品に関する有害性

刺激性 : 眼、皮膚等に強い刺激性あり。

12. 環境影響情報

組成物質環境影響性 2-アミノエタノールについて

水生環境急性有害性 :	魚類(ニジマス)	LC ₅₀	114~196 mg/L/96hrs
	魚類(ファットヘッドミノ)	LC ₅₀	227 mg/L/96hrs
	魚類(ブルーギル)	LC ₅₀	300~1,000 mg/L/96hrs
	魚類(ゼブラダニオ)	LC ₅₀	3,684 mg/L/96hrs
	甲殻類(オオミジンコ)	EC ₅₀	65 mg/L/48hrs
	藻類(テヌモテスムス属)	EC ₅₀	15 mg/L/72hrs

水生環境慢性有害性 : 急速分解性があり(BODによる分解度:83%(既存化学物質安全性点検データ)), かつ生物蓄積性が低いと推定される。

(log know = -1.31(PHYSPROP Database, 2005))

分解性 : 微生物等による分解性が良好と判断される物質。分解度:83%(BOD)

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

組成物質環境影響性 アンモニアについて

水生環境急性有毒性: 甲殻類(オホシジロ)	EC ₅₀	0.66mg/L (HSDB, 2004)
魚類(マス)	傷害閾値	0.4mg/L (NH ₃ として)
魚類(マス)	致死限界量	1.25~5mg/L (NH ₃ として)

製品に関する環境影響性

河川、湖沼等の富栄養化原因となる窒素を含有している。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：希酸で中和した後、活性汚泥法・活性炭吸着法等で含有する界面活性剤等の有機物を分解除去して無害化して、関係法令を遵守し排出基準に適合しているか確認の上で排出する。

又は、これを含む廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関係法令並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

小型運搬容器を用いる運搬に際しては、容器に漏れのないことと適法な外装の施こされていることを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

固定容器、積載式容器を用いる運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、積み込み時、運搬中、積卸し時に漏れ防止を確実にを行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

国際規則

海上規制情報	IMOの規定に従う
UN No.	3267
Proper Shipping Name	CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S.
Class	8
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う
UN No.	3267
Proper Shipping Name	CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S.
Class	8
Packing Group	III

国内規則

陸上規制情報	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
国連番号	3267
品名	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)
クラス	8
容器等級	III
航空規制情報	航空法の規定に従う
UN No.	3267
Proper Shipping Name	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)
Class	8
Packing Group	III

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物

(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

「2-アミノエタノール No.21、アンモニア No.39、ベンジルアルコール No.530 の2」

名称等を通知すべき危険物及び有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

「2-アミノエタノール No.21、アンモニア No.39、ベンジルアルコール No.530 の2」

作成日	2011年01月21日
改訂日	2021年01月05日
版番号	第10版

労働安全衛生法：特定化学物質第3類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号)

「アンモニア」

腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)

「アンモニア」

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

消防法：非該当

水質汚濁防止法：pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質量等(排水となった場合)

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

アンモニア【排水基準】100mg/L以下(アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの)

大気汚染防止法：揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

「ベンジルアルコール(排気)」

海洋汚染防止法：有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

「ベンジルアルコール」

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：廃棄する場合(産業廃棄物)

外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)

HS3814.00.000 ペイント用調整除去剤

16. SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報

作成、改訂：作成 … 2011年01月21日

改訂 … 2021年01月05日 第10版 *改訂内容：改正労安法を反映

参考文献：GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHSモデルSDS情報 中央労働防災防止協会 安全衛生情報センター HP

JIS-Z-7250,7251,7252,7253

[注意]危険・有害性の評価は必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。(F.S.)

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処	所属	朝日燃料支処 補給科		
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX	
2 廃棄物の名称	融氷液2種					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	エチレングリコール 68~70% プロピレングリコール 20~22% 他 第二リン酸カリウム 0.9~1.1% ソジウムジ(2エチルヘキシル) サルフォサクシネート 0.45~0.55% 水 9.0~10.0%			MSDSがある場合、CAS No. エチレングリコール 107-21-1 プロピレングリコール 57-55-6 第二リン酸カリウム 7758-11-4 ソジウムジ(2エチルヘキシル) サルフォサクシネート 577-11-7 水 7732-18-5	
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input checked="" type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銹さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には 混入有りは○、 無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキササン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・ <u>非該当</u>)、委託する廃棄物の該当・ <u>非該当</u> (該当・ <u>非該当</u>) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には 混入有りは○、 無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(127℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物質 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input checked="" type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(ほぼ無臭) 色(無色) 比重(1.103g/cm ³) pH(9.1) 沸点(147℃) 融点(-50℃) 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(18kg缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) ()kg・t・%・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・保管の際、直射日光を避け、通風が良く、火気、熱源から離して保管すること。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実に進行。 有害性情報 ・飲み込むと有害 ・重篤な眼の損傷 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

作成日 2015年 7月 27日
改定日 2015年 8月 17日

安全データシート

(株)コロサカ
2-12-10

1. 化学品(製品)および会社情報

製品 の 名 称 : 融氷液 2種
推奨用途及び使用上の制限 : 航空機用融氷液
供給者の会社名称 : 東京ファインケミカル株式会社
住 所 : 東京都港区西新橋1-4-14
電 話 番 号 : 03-3506-7666
F A X 番 号 : 03-3506-7671
緊 急 連 絡 先 : 神奈川県横須賀市夏島町2873-8
横須賀工場 RC室環境安全担当
TEL 046-865-6144
e-mail : kankyo@tokyofine.jp
整 理 番 号 : A3090-0027L1

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類 [区分]

物理化学的危険性 : 分類対象外、区分外または分類できない。
健康有害性 : 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2B
標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1
標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分1

環境有害性 :
* 上記で記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 眼刺激
臓器の障害(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)
長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害

注意書き :

【警告】

『飲用不可』人体に害がありますので飲まないで下さい。
引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。
子供の手の届かない所に置いて下さい。

【使用上の注意】

上記用途以外に使用しないで下さい。
作業は換気の良い所で行って下さい。
作業の際には皮膚等への接触を避けるようにし、保護眼鏡、手袋等を使用して下さい。
作業中衣服や他の物に付着した場合、着色の恐れがありますので直ちに水および洗剤で洗って下さい。

【保管および廃棄方法】

保管の際は、不凍液の表示のある容器を用いて密栓し、直射日光の当たる所や錆の発生しやすい水湿気の多い所に置かないで下さい。

廃液は環境汚染等の恐れがあり、法令で義務付けられていますのでそれに従い適正に処理して下さい。

容器を廃棄の際は、中身の液を使い切ってから廃棄して下さい。

法規制 消防法 火気厳禁 危険物第4類第3石油類危険等級Ⅲ・水溶性
安全情報

重要な徴候 : 重要な徴候としての報告はない。
非常事態の概要 : 重要な非常事態での顕著な危険性の報告はない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合製品

成分及び含有量

化学名	化学式	濃度又は濃度範囲 (%)	CAS No.	化審法No.
エチレングリコール	HOCH ₂ CH ₂ OH	68~70%	107-21-1	2-230
プロピレングリコール	HOCH(CH ₃)CH ₂ OH	20~22%	57-55-6	2-234
第二リン酸カリウム	K ₂ HPO ₄	0.9~1.1%	7758-11-4	1-452
ソルウムジ(2エチルヘキシル)サルフォサクシネート	C ₂₀ H ₃₇ O ₇ SNa	0.45~0.55%	577-11-7	2-1623
水	H ₂ O	9.0~10.0%	7732-18-5	

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の手当を受ける。呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸道を確認した上で人工呼吸を行う。呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服、靴などは速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば衣服等を切断する。製品に触れた部分を水、または微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。
- 目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間以上洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医療措置を受ける手配をする。水で口の中を洗わせてもよい。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
- 急性症状及び遅発性病状の最も重要な徴候病状 : 上記の応急措置の記述、下記の応急措置及び必要とされる特別な措置の指示に記載されている情報を除いて、追加の病状や影響は予想されない。
- 応急措置をする者の保護 : 知見なし
- 医師に対する特別な注意事項 : 知見なし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 適切な消火剤を選択するが、この製品について消防法では以下消火剤が指定されている。
化学消泡剤、ハロゲン化物、二酸化炭素、消火粉末(リン酸塩類、炭酸水素塩類)、乾燥砂など。
- 使ってならない消火剤 : 水
- 特有の危険有害性 : 知見なし
- 特有の消火方法 : 霧状等対象物が四散しない方法(棒状散布不可)
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に喚起を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には保護具(耐油性ゴム手袋、保護眼鏡、有毒ガス用防毒マスク、保護衣等)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。こぼれた場合はすべりやすいため注意する。多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項

- : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。漏出物を直接、下水、河川、海、一般排水溝などに排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : 少量の場合 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。
- : 大量の場合 : 大量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

(取扱い)

技術的対策

- : 漏れ、あふれ、飛散を防ぎ蒸気を発散させない。
取扱い場所では火気、火花、アークを発するもの、または高温点火源付近で使用しない。容器はみだりに転倒させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしない。

安全取扱い注意事項

- : 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
取り扱う場所は、局所排気、全体喚起の設備のある場所で取り扱う。
火気厳禁

接触回避

- : 吸入を防ぎ、眼、粘膜、皮膚との接触を避ける。必要に応じ適切な保護具を着用し、風上から作業する。取扱い後、手洗い洗眼等を十分に行い、又衣服に付着した場合は着替える。

(保管)

安全な保管条件

- : 通気の良い場所で容器を密閉し、直射日光が当たらないように冷暗所に保管する。火気厳禁。

安全な容器包装材料

- : 強酸化性物質と同一場所には保管しない。火源の近くに保管しない。
容器は破損、腐食、割れ等の変質しない材質(例、石油缶、ドラム缶)に入れ保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

- : 日本産業衛生学会 設定されていない。
ACGIH エチレングリコール(エソール) 100mg/m³ (天井値)
(2004年度版)

設備対策

(保護具)

呼吸用保護具

- : 簡易マスクなどを用いて誤飲等を防ぐ。

手の保護具

- : 耐油・耐水性(不浸透性)手袋の着用。

眼の保護具

- : ゴーグル型保護眼鏡の着用。

皮膚及び身体の保護具

- : 保護服(長袖、長ズボン)、保護前掛け(不浸透性)、保護長靴の着用。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色など)	:	無色液体
臭い	:	ほぼ無臭
臭いのしき(閾)値	:	知見なし
pH	:	9.1 (30vol%, 25℃)
融点・凝固点	:	融点 : -50℃以下
沸点、初留点及び沸騰範囲	:	沸点 : 147℃
引火点	:	127℃
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	:	知見なし
燃焼性(固体、ガス)	:	知見なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	:	溶剤のエチレングリコールとして上限15.3%, 下限3.2%
蒸気圧	:	知見なし
蒸気密度(空気=1)	:	溶剤のエチレングリコールとして2.14
比重(相対密度)	:	1.103 g/cm ³ (20℃)
溶解度	:	水と任意の割合で溶解する。
n-オクタノール/水分分配係数	:	溶剤のエチレングリコールとして-1.36~0.92
自然発火温度	:	溶剤のエチレングリコールとして398℃
分解温度	:	知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	自己反応性なし。
化学的安定性	:	通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応性	:	現在、特定条件下で生じる危険な反応の情報はない。
避けるべき条件	:	通気のない直射日光が当たる環境下。
混合危険物質	:	知見なし
危険有害な分解生成物	:	単独の燃焼では、二酸化炭素、水になり、不完全燃焼では一酸化炭素などが発生する。

11. 有害性情報

混合物としての知見はない。

急性毒性(経口)	:	エチレングリコール LD ₅₀ =4,000mg/kg (ラット)
	:	プロピレングリコール LD ₅₀ =20,000mg/kg (ラット)
急性毒性(経皮)	:	エチレングリコール LD ₅₀ =10,600mg/kg (CICAD 45 (2002)ラット)
	:	プロピレングリコール LD ₅₀ =10,000mg/kg (ウサギ)
急性毒性(吸入)	:	有効データの知見なし。
皮膚腐食性・刺激性	:	エチレングリコール mild dermal irritation in rabbits and guinea-pigs (CICAD 45 (2002) ウサギ、モルモット)
	:	プロピレングリコール ヒトが噴霧暴露された場合では、眼に対して刺激作用はない。ヒトの皮膚に直接接触した場合、開放系では刺激性はないが、密閉系ではある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	エチレングリコール エチレングリコール(液体又は蒸気)のウサギの眼への短時間暴露は角膜の永久傷害を伴わない結膜への刺激をもたらす(CICAD 45 (2002))
	:	プロピレングリコール ウサギの眼に直接点眼した場合、マイルドな刺激作用があるが、50%水溶液では刺激性はなかった。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	有効データの知見なし。
生殖細胞変異原性	:	有効データの知見なし。
発がん性	:	公知機関による発がん性とされた物質を含まない。

生殖毒性 : エチレングリコール CICAD 45 (2002) マウスの連続交配試験、ラットの催奇形性試験において、母毒性のない用量で児動物への影響(奇形、骨化遅延、未骨化)がみられているが、GHS国連文書3.7.2.5.5には、作用機序がヒトには該当しないことが示された場合には、実験動物の生殖に有害影響を生じるような物質での分類すべきでないと記載されている。従って、GHS分類は「区分外」が妥当であると考える。

プロピレングリコール マウス継代試験でプロピレングリコール5%を給水投与した結果、親にも次世代にも繁殖及び生殖影響はなかった。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

エチレングリコール ヒトについて、「誤飲後34日以降に意識障害、痙攣、昏迷状態がみられ、血液科学的検査では尿素窒素、クレアチニン及び尿酸が増加、尿検査で蛋白尿及び血尿がみられ、腎障害が認められている。腎生検で尿細管に組織学的変化がみられている。また、肺の軽度なうっ血がみられた」「急性影響は4段階に分けられる。まず暴露後30分から12時間後に起こる中枢神経系への作用、次に暴露12-36時間後に起こる心肺系への影響、さらに第1及び第2段階で死亡(エチレングリコール)を免れた者にみられる腎臓障害、そして中枢神経系の変性である。」(CERIハザードデータ集 97-24 (1998))との記載があることから、標的臓器は中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器と考えられた。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

エチレングリコール ヒトについて、「意識消失、眼球振とう」「軽い頭痛と腰痛、上気道の刺激」(環境省リスク評価書 第3巻 (2004))、実験動物については「肺及び心臓に炎症性的変化」(環境省リスク評価書 第3巻 (2004))、標的臓器は中枢神経系、呼吸器、心臓と考えられる。

吸引性呼吸器有害性 : 有効データの知見なし。

1.2. 環境影響情報

混合物としての知見はない。

生態毒性 : エチレングリコール 魚類(ヒメダカ)の96時間LC50>100mg/L
(環境省生態影響試験、2001)

プロピレングリコール 魚類(金魚)の96時間LC50>1,000mg/L

残留性・分解性 : エチレングリコール 難水溶性ではない(水溶解度=1.00×106mg/L (PHYSPROP Database、2005))

生体蓄積性 : 有効データの知見なし。

土壤中の移動性 : 有効データの知見なし。

オゾン層への有害性 : オゾン層破壊物質に関するEC規則2037/2000の附則書Iに含まれていない。

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 適切な焼却炉にて焼却処理する。もしくは都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。
引火性液体なので、焼却処理する場合は、焼却炉への添加装置を用いる方法や、適切な吸着剤に吸着させた後に少量ずつ添加する等、注意が必要である。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1.4. 輸送上の注意

国連番号 : 設定されていない。
品名(国連輸送名) : 該当しない。
国連分類 : 該当しない。
容器等級 : 該当しない。
海洋汚染物質 : 該当しない。
MARPOL 73/78 附属書II及びIBCコード : 該当しない。

1.5. 適用法令

消防法 : 危険物 第4類第3石油類危険物等級III(水溶性液体)
労働安全衛生法 : 法第57条の2 名称を通知すべき有害物
エチレングリコール
化学物質管理促進法(PRTTR法) : 非該当
船舶安全法及び港則法 : 危規則告示別表 該当しない。
海洋汚染防止法 : 個品運送 該当しない
毒物および劇物取締法 : 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物の種類) : 廃アルカリに該当。

1.6. その他の情報

引用文献等
NIOSH Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
産業衛生学会紙 許容濃度の勧告(2004年度)
ACGIH化学物質と物理因子のTLV
化学物質のBEI(2004年度用)
(社)日本作業環境測定協会 Ph. D. 沼野雄志訳
(財)化学物質評価研究機構 データベース
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
原料安全データシート(エチレングリコール)
原料安全データシート(プロピレングリコール)
東京ファインケミカル(株)測定値
JIS Z 7253 : 2012 準拠

記載内容の問い合わせ先

東京ファインケミカル株式会社 技術開発部
TEL 046-865-6144
FAX 046-865-4436

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。□
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	油圧作動油,トラッククレーン用(20L缶)					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	石油系炭化水素(鉱油)90w%以上100w%未満				MSDSがある場合、CAS No. SDS記載なし
	他	潤滑油添加剤 10w%未満 リン酸トリトリル 1w%未満 2,6-ジーターシャリーブチル4-クレゾール 1w%未満 細部詳細は営業機密であり非公開				
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキササン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当)					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
7	<input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(220°C以上) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(僅かな溶剤臭) 色(無色) 比重(0.87) pH(データなし) 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有(無)有る場合は具体的に記入)
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(20L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (25)kg・t・kg・m ³ ・本・缶・袋(個) / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 ・直射日光を避け、風通しの良い冷暗所に保管する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・吸引すると有害 ・皮膚に接触すると有毒 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

2-11 18

油圧作動油 トラッククレーン用

タダノ ハイドロリックオイル L.L. 出光興産株式会社, 32242034, 2013年11月11日, 1/7



油圧作動油 製品安全データシート

作成：2004年12月 1日
改訂：2013年11月11日

(株)のり

1. 製品及び会社情報

製品名	タダノ ハイドロリックオイル L.L
会社名	出光興産株式会社
住所	東京都千代田区丸の内3丁目1番1号
担当部門	潤滑油部潤滑油安全品質保証室
電話番号	03-3213-3143
FAX番号	03-3211-5343
整理番号	32242034

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
皮膚感作性	区分1A
急性水生毒性	区分3
慢性水生毒性	区分3

GHSラベル要素
絵表示：



注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 長期的影響により水生生物に有害。
注意書き - 安全対策	粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレーの吸入を避けること 汚染された作業衣は作業場から出してはいけません 保護手袋を着用すること 環境に放出しないこと
注意書き - 救急措置	皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する 皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください 再使用前に汚染された衣服を洗う
注意書き - 保管	分類対象外
注意書き - 廃棄	内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること
その他の情報	
ほかの危険有害性	

3. 組成, 成分情報

単一製品, 混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	潤滑油 (石油系炭化水素および潤滑油添加剤)
成分及び含有量	石油系炭化水素 (鉱油) 90質量%以上100質量%未満 潤滑油添加剤 10質量%未満 りん酸トリトリル 1質量%未満 2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール 1質量%未満 詳細は営業機密であり非公開。
化学特性 (化学式)	特定できない。
官報公示整理番号 (化審法, 労働安全衛生法)	構成物質は全て既存化学物質であるが、番号は営業秘密であり非公開。
危険有害成分	
化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	鉱油 (第57条2 通知対象物 政令番号 第168号) 2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (第57条2通知対象物 政令番号 第262号)
毒物劇物取締法	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所へ移動させ、身体を毛布などで被い、保温して安静を保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。(文献1)
皮膚に付着した場合	汚染された衣服・靴などを速やかに脱ぎ、多量の水または微温湯と石鹸で、付着した部分を洗い流す。加熱状態の製品が触れた場合は、洗浄した後に火傷に対する措置を行わなければならない。また、水疱、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	清潔な水で十分に目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引等の危険が増す。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗浄する。(文献2)
最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報	飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。 目に入ると炎症を起こす可能性がある。 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。 ミスト・蒸気を吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状の強化液などが有効である。
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。火災を拡大して危険な場合がある。
特定の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。初期の火災の際には、粉末消火薬剤、二酸化炭素消火器を用いる。大規模火災の際には、泡消火薬剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は火災を拡大して危険な場合がある。
消火を行う者の保護	消火の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。燃焼又は高温により有毒なガス(一酸化炭素等)が生成する可能性があるため、呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	流出して製品が河川・下水道等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。
除去方法	漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合には土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。大量の場合には、漏出した液を土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し、河川・下水道等に排出されない様に注意する。海上の場合には、オイルフェンスを展開し拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には、国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
二次災害の防止法	事故の未然及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。周囲の着火源となるものを速やかに取り除き、着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱者の暴露防止

取扱には適切な保護具を必ず着用し直接の接触を避ける。容器から取り出す時にはポンプ等を使用すること。細管を用いて口で吸い上げるようなこと（サイホン）はしてはならない。また、口の中に入れてたり、飲んだりしてはならない。

火災・爆発の防止

火気注意。炎、火花又は高温体との接触を避ける。静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。製品が残存している機械設備等を修理又は加工する場合は、安全な場所において製品を完全に除去してから行う。電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。

その他の注意

常温で取扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意する。また、取扱の都度容器を必ず密栓する。油の抜き取り部位が熱い時の油の抜き取りは、火傷の危険があるため、油の抜き取り部位が冷めてから油を抜き取ること。

注意事項

指定数量以上の量を取扱う場合には、消防法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。製品より発生する蒸気は空気より重く滞留しやすいので、みだりに蒸気を発散させないとともに作業場所の換気を十分に行う。

安全取扱い注意事項

炎、火花又は高温体との接触を避ける。静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。空容器に圧力をかけてはならない。圧力をかけると破裂することがある。容器は溶接、加熱、穴あけまたは切断してはならない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

保管

適切な保管条件

直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。保管の際には危険物の表示を行う。熱、スパーク、火炎及び静電気蓄積を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

安全な容器包装材料

「危険物の規制に関する規則別表第3の2」に該当する容器を使用する。容器は、「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条の5」に定める容器試験基準に適合していることを自主的に確認すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	ミスト・蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。取扱場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。
許容濃度 管理濃度	規定なし（作業環境評価基準：労働省告示第26号、平成7年3月27日）
許容濃度	日本産業衛生学会（2004年度版） 時間荷重平均 TWA $3\text{mg}/\text{m}^3$ （鉱油ミストとして）（文献3） ACGIH（2004年度版） 時間荷重平均 TWA $5\text{mg}/\text{m}^3$ （鉱油ミストとして）（文献4）
保護具	
呼吸器の保護具	ミスト・蒸気が発生する場合、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。密閉された場所では、送気マスクを着用する。
手の保護具	耐油性（不浸透性）保護手袋を着用する。
目の保護具	飛沫が飛ぶ場合には、普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	耐油性の長袖作業衣、安全靴を着用する。濡れた衣服は脱ぎ、完全に清浄してから再使用する。
適切な衛生対策	作業中は飲食、喫煙をしない。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。また、休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
動粘度 (@40°C)	35.3 mm ² /s
臭気	僅かな臭気
色調	無色
形態	透明液体
物理的状态が変化する特定の温度	
初凝固点	250 °C
流動点	-47.5 °C
引火点 (COC、代表値)	220 °C
爆発特性	
爆発限界	下限：1容量% 上限：7容量%（推定値）
密度 (@15°C)	0.87 g/cm ³
水に対する溶解性	不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	常温・常圧で安定。
反応性	強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。
避けるべき条件	強酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼等により一酸化炭素等が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性 鉱油	経口 ラット LD50 5g/kg以上 (推定値)
局所効果	皮膚や目、粘膜に対し、長期又は繰り返し接触する場合には刺激性がある恐れがある。
刺激性	現在のところ有用な情報なし。
慢性毒性・長期毒性	現在のところ有用な情報なし。
発がん性 鉱油	OSHAでは、「本製品に使用している鉱油は、高度精製鉱油であり、IARCではグループ3に分類（ヒトに対して発がん性について分類できない）」と評価されている（文献5）。EUでは、「本製品に使用している鉱油は、発がん性物質としての分類は適用される必要ない」と評価されている（文献6）。
添加剤	現在のところ有用な情報なし。
変異原性	現在のところ有用な情報なし。
推奇形性	現在のところ有用な情報なし。
生殖毒性	現在のところ有用な情報なし。
その他	飲むと下痢、嘔吐する恐れがある。皮膚に触れると炎症を起こす恐れがある。目に入ると炎症を起こす恐れがある。ミスト・蒸気を吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

12. 環境影響情報

移動性	物理化学的性質から見て、大気、水系、土壌環境に移動しうる。
残留性/分解性	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性	現在のところ有用な情報なし。
生態毒性	現在のところ有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	事業者は残余廃棄物を自ら処理するか又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。残余廃棄物は産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で規制されているので、そのまま埋め立てたり、投棄してはならない。
汚染容器・包装	内容物を完全に除去した後に残余廃棄物と同様に産業廃棄物として処理する。
焼却する場合	安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつける。その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

14. 輸送上の注意

国連分類	国連の定義による危険物に該当しない。
国連番号	国連の定義による危険物に該当しない。
国内規制	
陸上輸送	
容器	「危険物の規制に関する規則別表第3の2」に該当する容器を使用する。容器は、「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条の5」に定める容器試験基準に適合していることを自主的に確認すること。
容器表示	一 第四石油類、危険等級Ⅲ、潤滑油 二 (数量) 三 火気厳禁
積載方法	容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。指定数量以上の危険物を車輛で運搬する場合は、総務省令で定めるところにより、当該車輛に標識を掲げる。またこの場合、当該危険物に該当する消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。第一類及び第六類の危険物及び高压ガスとを混載しない。
道路法	道路法における危険物に該当しない。
海上輸送	船舶安全法における危険物に該当しない。
航空輸送	航空法における危険物に該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。該当法規に従い、包装、容器、表示、輸送を行う。本製品は、引火性液体なので、「火気厳禁」。

15. 適用法令

消防法	危険物第四類第四石油類
化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	通知対象物質
毒物・劇物取締法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
水質汚濁防止法	油分排出規制 ノルマルヘキサン抽出分として検出される。
海洋汚染防止法	油分排出規制
下水道法	鉱油類排出規制
道路法	危険物に該当しない。
船舶安全法、危険物船舶運送及び貯蔵規則	危険物に該当しない。
航空法	危険物に該当しない。
海外化学物質登録状況	
日本 (ENCS)	収載
米国 (TSCA)	収載
EU (EINECS)	収載
カナダ (DSL)	収載
オーストラリア (AIGS)	収載
韓国 (ECL)	収載
中国 (IECSC)	収載

16. その他の情報

本品を輸出する際の注意事項

- 化学物質に関する規制や法律は各国の事情で不定期に変更されます。
上記以外の国への輸出に際しては、事前に弊社へお問い合わせ下さい。

引用文献

- ANSI Z 129.1-1994 American National Standards Institute. (米国規格協会)
- 絵で見る中毒110番 (保健同人社)
- 許容濃度の勧告 (2004) 日本産業衛生学会 産業産業衛生学会誌
- Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2004)
- IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33
- EC委員会指令「67/548/EEC」の付属書I「危険な物質リスト」
- 製品安全データシートの作成指針 (改訂版) (日本化学工業協会)

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。本製品安全データシートは、本製品の通常の取扱いを対象とし、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
 ※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341	茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用グリース,G354					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	潤滑油基油80%-90%				MSDSがある場合、CAS No. 企業秘密のため記載なし
	他	増ちょう剤(クレイ)10%以下 潤滑油添加剤10%以下				
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銹さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質 届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	<input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)						

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(約200℃以上) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(半固体) 臭い(僅かな臭気) 色(淡黄色)比重(0.97) pH() 沸点(250℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 (なし)
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(. 6.6LB缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他(ダンボール有)
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (60) kg・t・%・m3・本・缶・袋・個) / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

新製グリース G359

エーロシェル グリース シェル プリカンツ ジャパン株式会社 整理番号 001A0065 22年5月1日

26

安全データシート (SDS)

作成日:2017年11月1日/改定日:2022年5月1日

1. 化学品及び会社情報

製品名	エーロシェル グリース 7
推奨用途	航空用潤滑油
使用上の制限	上記以外の用途
会社名	シェル プリカンツ ジャパン株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内12階
電話/FAX番号	TEL.0120-064-315/FAX.0120-264-315(カスタマーサービスセンター)
緊急連絡先	同上/受付時間 月~金曜日 9:00-17:30
SDSに関する問い合わせ先	https://shell-lubes.co.jp/contact/ (弊社ホームページをご利用ください)
整理番号	001A0065

R5.3.1

藤本 沙七 (株)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 皮膚感作性: 区分1
水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語 警告
危険有害性情報 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き
【安全対策】

P261: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。
P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273: 環境への放出を避けること。

【応急措置】

P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P333+P313: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P302+P352: 皮膚に付着した場合: 大量の水と石鹸で洗うこと。
P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】
【廃棄】

なし
P501: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

※GHS分類から導かれる上記注意書きに記載がない場合でも、本SDS4~8章を参考にし安全対策/応急措置/保管/廃棄に関し十分な配慮を行うこと。
国・地域情報 国内外の情報に関しては「14. 輸送上の注意」「15. 適用法令」を参照すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	潤滑グリース
成分及び含有量	潤滑油基油 80-90% 増ちょう剤(クレイ) 10%以下 潤滑油添加剤 10%以下 (鉱油を含む場合はIP346法によるDMSO抽出物量3%未満の高度精製基油である)

化学特性 (化学式)	特定できない
官報公示整理番号	企業秘密なので記載できない
CASナンバー	企業秘密なので記載できない

危険有害成分

化学物質管理促進法(PRTR法)	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物劇物取締法	対象物ではない

GHS危険有害成分情報

【成分名/GHS危険有害性情報/GHS危険有害性コード/含有量】
セバシン酸ナトリウム/眼刺激性 区分2/H319/1-3%
フェニルナフチルアミン/急性毒性(経口) 区分4, 皮膚感作性 区分1B, 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2, 水生環境有害性 短期(急性) 区分1, 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1/H302,H317,H373,H400,H410/1-2.49%

フェノチアジン／急性毒性(経口) 区分4, 皮膚感作性 区分1B, 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2, 水生環境有害性 短期(急性) 区分1, 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 / H302, H317, H373, H400, H410 / 0.1-0.9%

トリアゾール誘導体／皮膚刺激性 区分2, 皮膚感作性 区分1B, 水生環境有害性 短期(急性) 区分1, 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 / H315, H317, H400, H410 / 0.1-0.9%

4. 応急措置

吸入した場合

- ・新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

- ・水と石鹼で付着した部分を洗う。

眼に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

- ・無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。
- ・口の中が汚染されている場合には、水で十分洗う。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報

- 1 飲み込むと、下痢、嘔吐する可能性がある。
- 2 目に入ると炎症を起こす可能性がある。
- 3 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
- 4 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

応急措置をする者の保護

- ・現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別注意事項

- ・現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

- 1 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
- 2 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
- 3 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

使ってはならない消火剤

- ・棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。

火災時の特定危険有害性

- ・現在のところ有用な情報なし。

特定の消火方法

- 1 火元への燃焼源を断つ。
- 2 周囲の設備等に散水して冷却する。
- 3 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護

- ・消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護

- ・消火用器材を準備する。

具及び緊急時措置

- ・作業の際には消火用保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 1 河川・下水道等に排出されないよう注意する。
- 2 海上の場合、薬剤を用いる場合には国土交通省令・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- 1 周辺の着火源を速やかに取り除く。
- 2 少量の場合は、土砂、ウエス等に吸収させ回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。
- 3 大量の場合は、漏油下場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器等に回収する。

二次災害の防止策

- 1 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- 2 周辺の着火源を取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- 1 指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
- 2 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。
- 3 静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。
- 4 危険物が残存している機械設備などを修理、又は加工する場合は、安全な場所において危険物を完全に除去してから行う。

	容器から取り出す時はポンプなどを使用すること。細管を用いて口で吸い上げてはならない。
	6 飲まない。
	7 皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。
	8 ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。
局所排気・全体換気 注意事項	容器は必ず密閉する。 ・「8. 暴露防止及び保護措置」を参照。 ・石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気などへの注意が必要である。
安全取扱い注意事項	1 常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意する。 2 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
保管	
安全な保管条件	1 直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。 2 ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。施錠して保管することが望ましい。 3 危険物に該当する場合、危険物の表示をして保管する。 4 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。 ・保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。 ・ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。
適切な技術的対策 注意事項	
安全な容器包装材料	1 初期充填された容器で保管する(他の容器に移し替えてはならない)。 2 空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。 3 容器は、溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	1 ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 2 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄の為の設備を設置する。
管理濃度 許容濃度	・設定されていない(作業環境評価基準(平成21年厚生労働省告示第194/195号)) ・日本産業衛生学会(2018年度版) ⁽¹⁾ 主たる基油としてはデータなし ・ACGIH(2018年版)時間荷重平均(TWA)値 ⁽²⁾ 主たる基油としてはデータなし
保護具	
呼吸器用の保護具	・通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
手の保護具	・長期間又は繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。
眼、顔面の保護具	・飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体 の保護具	・長期間にわたり取扱う場合又は濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。
適切な衛生対策	・濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	半固体
色	淡黄色
臭い	わずかに臭気あり
pH	データなし
融点/凝固点	滴点: 約290°C以上
沸点又は初留点及び沸騰範囲	初留点: 250°C以上(推定)
引火点	200°C以上(SETA)
可燃性	火がつき得る
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	爆発限界 下限: 1容量%(推定値)/上限: 10容量%(推定値)
蒸気圧	データなし
密度	約0.97g/cm ³ (15°C)
溶解度	水に対する溶解性: ほとんど不溶
n-オクタノール/水分係数	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし(本製品は固体)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	・通常の条件では安定。
反応性	・強酸化剤との接触を避ける。

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| 危険有害反応可能性 | ・ 現在のところ有用な情報なし。 |
| 避けるべき条件 | ・ ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触しないよう注意する。 |
| 混触危険物質 | ・ 現在のところ有用な情報なし。 |
| 危険有害な分解生成物 | ・ 燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。 |

11. 有害性情報

【基油として】

ここでは主たる基油について記載する。混合物としての有害性情報はなく、危険有害成分を分類基準となる濃度(濃度限界)以上含有する場合は「3. 組成、成分情報」に記載した。

- | | |
|------------------------|--|
| 急性毒性 | 1 経口 ラット LD ₅₀ >5,000mg/kg ⁽³⁾
2 経皮 ウサギ LD ₅₀ >5,000mg/kg ⁽³⁾
3 吸入(蒸気) データなし
4 吸入(ミスト) ラット(4h) LC ₅₀ >5mg/L ⁽³⁾ |
| 皮膚腐食性/刺激性 | ・ 皮膚への刺激性はないものと思われる ⁽³⁾ 。ただし、継続的又は繰り返しの接触により軽度の皮膚荒れを起こす可能性があるため注意すること。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | ・ 眼の刺激はないものと思われる ⁽³⁾ 。ただし、軽度の眼刺激を起こす可能性がある。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | ・ 動物実験では各種の感作性に関する情報はなし ⁽³⁾ 。 |
| 生殖細胞変異原性 | ・ 動物実験では変異原性/催奇形性は見られなかった ⁽³⁾ 。 |
| 発がん性 | ・ ヒトに対する発がん性としては格付できない ⁽³⁾ 。 |
| 生殖毒性 | ・ 生殖への毒性はないものと思われる ⁽³⁾ 。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)/反復ばく露) | ・ 単回暴露/反復ばく露ともに指摘されていない ⁽³⁾ 。 |
| 誤えん有害性 | ・ 40°Cの動粘性率が20.5mm ² /s以下の炭化水素には該当しない。その他の情報はなし。 |

12. 環境影響情報

【基油として】

ここでは主たる基油について記載する。混合物としての有害性情報はなく、危険有害成分を分類基準となる濃度(濃度限界)以上含有する場合は「3. 組成、成分情報」に記載した。

- | | |
|------------|--|
| 生態毒性 | ・ 水にはほとんど溶解しないため、水生生物への汚損を生じる。 |
| 魚毒性 | ・ LC/LL/EL/IL ₅₀ >100mg/L ⁽³⁾ |
| 水生無脊椎動物毒性 | ・ LC/LL/EL/IL ₅₀ >100mg/L ⁽³⁾ |
| 藻類に対する毒性 | ・ LC/LL/EL/IL ₅₀ >100mg/L ⁽³⁾ |
| 微生物類に対する毒性 | ・ LC/LL/EL/IL ₅₀ >100mg/L ⁽³⁾ |
| 水生環境急性有害性 | ・ 上記試験結果から水生環境急性有害性なしと判断する。 |
| 水生環境慢性有害性 | ・ 上記試験結果から水生環境慢性有害性なしと判断する。 |
| 土壤中の移動性 | ・ 類似基油のlog K _{oc} は3以上と推測され、地表で漏出した油は土壌に吸着されることにより地下水へ流出することは考えにくい。 |
| 残留性・分解性 | ・ 本物質の即時的な生物分解性は期待できないが、最終的には生物分解されると期待されている ⁽³⁾ 。 |
| 生態蓄積性 | ・ 生物濃縮は見込まれないが、生物濃縮の可能性のある成分を含む場合がある ⁽³⁾ 。 |
| オゾン層への有害性 | ・ モントリオール議定書、オゾン層保護法等の規制対象物の使用はなく区分外と判断する。 |
| その他 | ・ 上記情報は部分的な情報及び類似物質によるものである。すべての基油に対して完全な情報が取得されているわけではない。 |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 - 投棄禁止。
 - 埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。
 - 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。
- 汚染容器及び包装
- ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制		
国連分類、品名等		・ 非該当
国連番号		・ なし
追加の規制		・ 現在のところ有用な情報なし。
国内規制		・ 下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
陸上輸送	消防法 容器	危険物に該当しない 危険物に該当する場合、危険物の規制に関する規則別表第3の2項 に定められたものを使用すること。(注)容器は、危険物の規則に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条の5 に定める容器試験基準に適合していることを確認すること。
海上輸送		・ 船舶安全法：非該当
航空輸送		・ 航空法：非該当
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策		1 引火性があるので「火気厳禁」 2 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。 3 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、総務省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げる。また、この場合、当該危険物に該当する消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。 4 第1類及び第6類の危険物及び高压ガスと混載しない。 5 その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法令

消防法	危険物に該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法)	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物劇物取締法	対象物ではない
海洋汚染防止法	油分排出規制(原則禁止)
下水道法	鉱油類排出規制(5mg/L)
水質汚濁防止法	油分排出規制(5mg/L許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規則(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

※本書類中の%表示については、特に指定のない限り「質量%」を表す。

【引用文献】

1. 許容濃度の勧告(2018年度) 日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH (2018)
3. 各種上流メーカーのSDS (2010-2012)

【参考資料】

- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂6版, 国際連合, ニューヨーク ジュネーブ(2015)
- ・ 日本規格協会 JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- ・ 同上 JIS Z 7252::2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite)「GHS関連情報」
- ・ 経済産業省 化学物質排出把握管理促進法サイト
- ・ 厚生労働省 医薬食品局「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」
- ・ 厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報」

安全データシート(SDS)は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱事業者へ提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って本データシートそのものは安全の保証書ではありません。また本データシートはJIS Z7253:2019/JIS Z7252:2019に沿って、潤滑油協会にて作成したSDSモデル及び改定日時点で弊社のサプライチェーンを通じ上流メーカーから得られた情報を基に作成したものであり、その内容やデータについて弊社製品そのものを反映しているわけではなく、すべてを保証するものでもありません。各種法令改正や製品情報の改定により今後も内容が変更されますので、販売・流通事業者は、取扱事業者に対し、常に最新の安全データシートを提供するようにお願いします。

【SDSの請求に関して】 法律では、SDSの提供は直接の納入事業者により行われるものと定められています。最新のSDSが必要なお客様は、購入窓口(弊社特約店、商社、弊社販売担当部門など)にご用命いただくようお願いいたします。

入 札 書

金額 ￥

品 名	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
産業廃棄物処理	仕様書のとおり	ST	1		
以 下 余 白					
納入場所	関東補給処 朝日燃料支処		納期	令和6年3月29日	
入札(契約)保証金	免除	入札書有効期間		/	

上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾の上、入札いたします。

また、当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和6年1月18日

分任契約担当官
陸上自衛隊関東補給処
調達会計部長 酒井 隆 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 名
担 当 者 名
連 絡 先

(注)押印を省略する場合には担当者名及び連絡先を記載すること。

委 任 状 (入札等)

陸上自衛隊 関東補給処
調達会計部長 酒井 隆 殿

住 所
会 社 名
代表者名
担当者名
連 絡 先

令和 年度の入札等について、入札書又は見積書の提出に関し、
令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間、
を代理人と定め、下記権限を委任します。
なお、委任解約した場合には連署の上、お届けします。

記

- 1 入札書提出の件
- 2 見積書提出の件
- 3 その他上記委任事項に関する一切の件

令和 年 月 日

委任者

受任者

(注) 押印を省略する場合には担当者名及び連絡先を記載すること。